Hondaインターナビシステム

取扱説明書

説明書について

Honda インターナビシステムの取扱説明書は次の２部構成になっています。

取扱説明書 (本書)

Honda インターナビシステムの基本的な機能を
わかりやすく記載しています。

お願い

記載されていない内容や困ったときは「デジタルオーナーズマニュアル (CD-ROM 版)」を必ずお読みください。

デジタルオーナーズマニュアル (CD-ROM 版)

Honda インターナビシステムの機能を十分ご理解いただけるようにすべての機能を詳しく説明しています。

お知らせ

この CD-ROM は Honda インターナビシステムでは見ることができません。
CD-ROM ドライブが装着されているお手持ちのパソコンでご覧になることができます。

このたびは Honda 車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

この本は 5 つの分類に分けて説明しています。
各分類の特徴は右記のとおりでインデックスの色分けは分類を説明しています。

お願い
- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 初期画面を表示した後に大切なメッセージを表示します。必ずお読みください。

お知らせ
- 操作パネル色や地図色の設定がこの本に記載の画像と異なる場合があります。色の設定の変更については、「ナビ機能の設定を変える」(P168) を参照してください。
- 仕様変更などにより、この本の内容と実車が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 画面の表示の色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

基本的な機能 ･･･(A ～ D) 章
知っておくと役に立つ基本的な機能を説明

ナビゲーション機能 ･･･(E ～ J) 章
ナビゲーション機能に関する操作

通信機能 ･･･(K) 章
インターナビ・プレミアムクラブ機能に関する操作

オーディオ機能 ･･･(L ～ M) 章
音楽や映像の機能に関する操作

その他 ･･･(N ～ U) 章
その他の機能や専門用語、各機能の詳細な情報

インターネットで
ドライブ計画 を立てて
おくと便利です。
→ (P79)
自宅を登録 しておくと
帰る時に便利です。
→ (P28)
お好みの場所や
よく行く場所を
登録 できます。
→ (P50)
サービスエリアの情報
を確認できます。
→ (P45)
サービスエリア
音楽で ドライブを
よりいっそう楽しめます。
→ (P87)
こんなときに使えます
Honda インターナビシステムでできることを、いくつかご紹介します。

最寄りの駐車場、
目的地付近の駐車場
を探せます。
→ (P63)
全国の主要な施設
をさまざまな方法で
探し出します。
→ (P57)
24
P
IC
近くの施設
を探せます。
→ (P60)
渋滞情報
を確認できます。
→ (P153)

安全にお使いになるために

Honda インターナビシステムの取り扱いを説明しています。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

表示	内容
⚠ 危険	**指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの**
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

安全に関する記号

🚫 禁止（してはいけないこと）を示します。

その他の表示

お願い

お車のために守っていただきたいこと。
Honda インターナビシステムをご使用いただく際に守っていただきたいこと。

⚠ 警告

• テレビや DVD ビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- パネルの収納時に手や指が挟まれないようにご注意ください。

- 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
  また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
  前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

! お願い

- 目的地 (自宅) への案内は、道路の状況や Honda インターナビシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

- 安全のために、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。

! お願い

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。

- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。エンジンを始動してからお使いください。

Honda インターナビシステム取扱説明書

もくじ

基本的な機能

知っておくと役に立つ基本的な機能を説明。

ナビゲーション機能

ナビゲーション機能に関する操作。

通信機能

インターナビ・プレミアムクラブ機能に関する操作。

オーディオ機能

音楽や映像の機能に関する操作。

その他

その他の機能や専門用語、各機能の詳細な情報。

A 本の見かた

この本の見かたについて説明しています。

B ナビゲーションのしくみ

Honda インターナビシステムでできることがこれでわかります。

C 覚えておきたい基本操作

必要となる操作を説明しています。

D はじめにする基本操作

まず最初に行っていただきたい 3 つの操作を説明しています。

E 表示に関すること

表示内容に関する見かたや変更方法について説明しています。

F ランドマークに関すること

コンビニやファーストフード店、ガソリンスタンドのマークを地図上に表示できます。

G 場所を登録する

目的地や経由地の設定に利用できるよく行く地点や目印になる場所を登録することができます。

H 場所を探す

ルートを設定するときや場所を登録するときの場所の探しかたを説明しています。

I ルートを設定する

さまざまな方法で目的地(経由地)を設定し、ルート計算を行います。

「もくじ」は次のページへつづきます >>

J ルート設定後にできること

ルート設定し、案内開始後にルートの確認や計算条件の変更、経由地の追加などができます。

K インターナビの通信サービスを使う

Honda からのお知らせや気象情報を確認するなどのサービスを利用できます。

L オーディオ・テレビ

音楽 CD やテレビ、DVD ビデオなどの操作方法をわかりやすく説明しています。

M HDDサウンドコンテナ

音楽 CD を Honda インターナビシステムのハードディスク (HDD) に録音して、再生する機能です。

N USB メモリーを使う

本機に登録した画像やマークリストのバックアップや、保存された音楽ファイルを再生することができます。

O ハンズフリー電話を使う

お手持ちの携帯電話を接続することでハンズフリーをご利用いただけます。

「もくじ」は次のページへつづきます >>

P 音声操作

音声で目的地の検索やオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。

Q VICS を使う

VICS センターに集められた交通情報を利用することで Honda インターナビシステムをより活用することができます。

R 便利な機能

アドレス帳やスケジュールの管理、個人情報を守るシークレットモードを利用することができます。

S 環境の設定について

Honda インターナビシステムの各機能の初期設定を行うことができます。

T 困ったときは・・・

「故障かな？」と思ったり、「どうしたらいいの？」と困ったときは、本章をチェックしてみてください。

U 付録

さまざまな専門知識、情報を記載しています。

本の見かた

この本の見かたについて説明しています。

知りたい機能の調べかた

知りたい機能を素早く、簡単に探せるように、いろいろな方法を紹介していきます。

メニュー名から探すとき

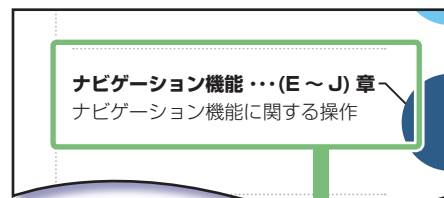
画面に表示するメニュー名の機能が知りたいときは、「さくいん」(P201) を利用します。

画面表示

「さくいん」のページ

目的別に探すとき

「～へ行きたい」などの目的があるときは、「もくじ」(P6) を利用します。

「インデックス」で目的の機能を確認

「もくじ」のページ

簡単操作 標準操作
特定の施設を探す
電話番号や施設の名称がわかっているとき、
簡単に探せます。
場所を探す方法を決める
電話番号や施設の名称で、
場所を探す
場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、
場所の登録ができます。
電話番号がわかっているとき
探している施設の電話番号がわかっているときに便利です。
1
簡単操作
目的地 → 電話番号で探す
にタッチする
標準操作
目的地 → 探し方 1 の
電話番号 にタッチする
2
電話番号を入力する
3
検索開始 にタッチする
場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、
場所の登録ができます。
特定の施設を探す
場所を探す
ルートを設定するときや場所を登録するときの
場所の探しかたを説明しています。
H

表記と意味

本書で使用している、各表記の意味を説明します。

表記	意味
① 簡単操作	簡単操作モードで操作可能な機能を示します。(→P26)
② 標準操作	標準操作モードで操作可能な機能を示します。(→P27)
③ ○○○○	Honda インターナビシステム本体のボタンを示します。(→P18)
④ ○○○○	液晶画面に表示するタッチスイッチ(青)を示します。
⑤ ○○○○	液晶画面に表示するタッチスイッチ(黒)を示します。
⑥ !○○○とは !?	専門用語の説明です。
⑦ 通信	通信機能を必要とします。※1 本機に対応した携帯電話が必要です。
⑧ (P000)	参照ページを示します。
⑨ ! お願い	お車のために守っていただきたいこと。Honda インターナビシステムをご使用いただく際に守っていただきたいこと。
⑩ 見出し	説明の内容を示す見出しです。

※ 1 通信費用が別途必要です。

※ このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

A
本の見かた
地図をスクロールして探すとき
地図をスクロールして、場所を探します。
現在地から近い場所を目的地や経由地、登録地にするときに便利です。
③
④
1
目的地 → 探し方１ の
地図から にタッチする
H
場所を探す
2
探している位置に を合わせる
目的地を消去する
設定した経由地や目的地を消去して、ルート案内を終了させるときに行います。
1
簡単操作
目的地 → 目的地を消去する
にタッチする
標準操作
目的地 → 目的地消去
にタッチする
目的地の消去が完了します。
⑤
internavi

ナビゲーションのしくみ

Hondaインターナビシステムでできることがこれでわかります。

B

こんなことができます

ナビを使うのがはじめての方にも、使いこなしている方にもお勧めしている機能をご紹介します。

ナビを使うのがはじめての方におすすめの機能はコチラ。

P26

簡単操作モード

簡単に使えるモードがあります。
よく使う機能を簡単に使えるようにまとめた「簡単操作モード」に切り換えます。

インターナビ通信機能を使う方におすすめの機能はコチラ。

P152

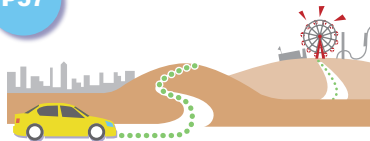
インターナビ VICS

高精度な交通情報を利用できます。
出発地から目的地までの交通情報を一気に取得して、最適なルート誘導を行います。

P85

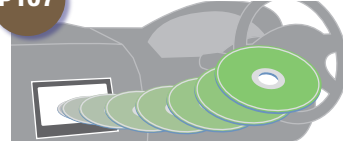
インターナビウェザー

気象情報を画面に表示します。
天気情報や警報・注意報を画面に表示します。
安全なドライブをサポートします。

P57 目的地設定

さまざまな方法で場所を探します。
施設の名称や電話番号、住所などから場所を探し、目的地に設定することができます。

P71 自宅へ帰る

帰り道は簡単に設定できます。
あらかじめ自宅を登録しておけば、行き先からの帰り道が簡単に設定できます。

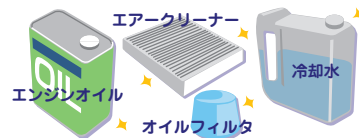
P107 HDD サウンドコンテナ

音楽 CD を HDD に録音できます。
本機内蔵のハードディスクに音楽 CD の曲を録音できるので、車内に音楽 CD を置いておく必要がありません。

P64 駐車場セレクト

駐車可能な駐車場だけを表示。
車両サイズに合わせた駐車場を検索。料金や形状の条件で絞り込みも可能です。

P79 パーソナル・ホームページ

自宅でドライブプラン。
インターネットで、ドライブ計画や My スポットを設定、カーナビと共有することができます。

カーカルテ

オイルなどの交換時期をお知らせ
走行距離を通信してパーソナル・ホームページで管理。
最適な交換時期をお知らせします。

各部の名前とはたらき

Honda インターナビシステム本体の各部の名前とはたらきについて説明します。

※イラストは代表例を記載しています。

パネルが閉じているとき

パネルが開いているとき

① **液晶画面**

② 画面 (→P37)
画面を設定、調節するときに使います。

③ メニュー (→P36)
メニュー画面にするときに使います。

④ 目的地 (→P34,P35)
目的地を選ぶときに使います。

⑤ 詳細 / 広域 (→P20)
地図のスケールを詳細 / 広域にします。

⑥ 現在地
現在地の地図画面にするときに使います。

⑦ ▲ (→P90)
パネルを開閉するときに使います。パネルを開けると入っていたディスクは自動的に出てきます。

⑧ 実行 **(ジョイスティック)**
地図のスクロールやメニューの選択・決定 (実行) などを行うときに使います。

⑨ SOURCE (→P38)
オーディオのメディアを切り換えるときに使います。

⑩ AUDIO (→P91)
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

⑪ VOL (→P92)
スピーカーの音量を調節します。

⑫ ⏻ AUDIO (→P92)
テレビ・オーディオを起動または終了するときに使います。

⑬ **ディスク挿入口** (→P90)
DVD ビデオや CD、CD-R/RW、地図更新ディスクを挿入します。

⚠ 注意

- CD や DVD ビデオのディスクを出したあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。
- パネルの収納時に手や指が挟まれないようにご注意ください。

ナビゲーション画面の見かた 簡単操作 標準操作

地図に自車位置を表示している画面をナビゲーションの「現在地画面」と言います。

① **方位マーク (、 、)**
地図の方位を示します。タッチすると、地図向き *(P31)* およびマップモード *(P32)* を切り換えることができます。

② **スケール表示**
下の がスケールの距離を示します。(2D マップのみ) タッチするとスケールバーが表示され、[広域]/[詳細] で地図の縮尺が変更できます。

③ **到着予想時刻 / 残距離**
目的地を設定すると目的地 (経由地) に到着するおおよその予想時刻および残りの距離を表示します。

④ **自車位置マーク**
○ は、現在の位置を示します。
▲ は、車の方向を示します。

⑤ **スケジュールアイコン**
当日に実行できなかったスケジュールがあるときに表示します。*→「スケジュールを管理する」(P161)*

⑥ **走行軌跡** *(→ P179)* ★
今までに通った約 100km 分の走行軌跡が表示できます。走行軌跡は地図のスケールが 50km 以下のときに表示します。
また、走行軌跡は [メニュー] → [機能設定] → [表示設定] → [走行軌跡表示消去] → [消去する] で消去することもできます。
(標準操作モードのみ)

⑦ **VICS 情報提供時刻表示**
受信した VICS 情報の提供時刻を表示します。

⑧ **現在時刻** ★
現在の時刻は、GPS*(P182)* 衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。

⑨ **現在地の地名** ★
都道府県名と市区町村名を表示します。

地図スケール	市区町村名	都道府県名
10m ～ 500m	表示する	表示しない
1km ～ 5km	表示する	表示する
10km ～	表示しない	表示する

場所によっては、地名や路線名が表示されないところもあります。

⑩ **アイコン**
タッチするとワンプッシュメニュー / カスタマイズメニューを表示します。*(→ P40)*
カスタマイズメニューではよく使う機能を登録しておくことができます。

⑪ **方面看板表示** ★
ルート走行中、交差点の手前 500m 以内に近づくと表示します。
(東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ)
表示は実際の標識と異なることがあります。

⑫ **レーン情報** ★
ルート走行中、交差点の手前 500m 以内に近づくと表示します。
(レーン情報のデータがある交差点のみ)

⑬ **交差点名**
案内交差点に名称がある場合は交差点名称を表示します。

★ は *「ナビ機能の設定を変える」(P167)* で [表示する]/[表示しない] などの設定変更が行える機能を示しています。

覚えておきたい
基本操作

必要となる操作を説明しています。

C

地図の縮尺を切り換える

10m ～ 300km までの範囲で地図のスケールを変えることができます。

簡単操作 標準操作

地図を詳細 / 広域で見る

1 **広域** または **詳細** を押す

▼

スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

広域	地図が広域で表示され、広い範囲を見ることができます。
詳細	地図が詳細表示され、詳しく見ることができます。

標準操作

2 画面で表示している場合

[広域] ボタンまたは [詳細] ボタンを押すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

1 **スケール表示**にタッチする

スケール表示

2 **広域** または **詳細** を押してスケールを変更する

簡単操作 標準操作

案内の音量を調節する

音声による案内の音量を調節できます。また、音声を消すこともできます。

1 メニュー を押す

2 簡単操作

音声音量を変える にタッチする

標準操作

音声音量設定 にタッチする

3 ー または ＋ にタッチする

4 決定 にタッチする

▼

音量の設定が完了します。

タッチ操作のしかた

Honda インターナビシステムでは、画面に直接タッチするタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして**“決定”**される操作について、本書では**「～にタッチする」**と表記しています。

また、タッチして実行されるメニューは**「タッチスイッチ」**と表記しています。

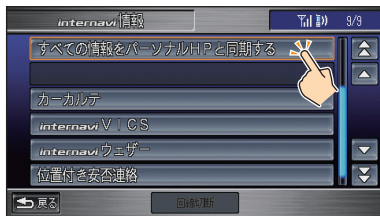
お願い

- 液晶画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探すとき

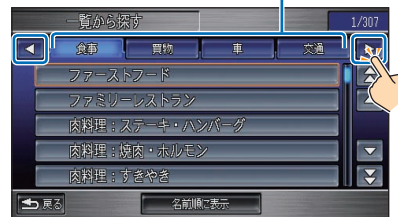
▲、▼ にタッチすると 1 つずつリストを選ぶことができます。

⏶、⏷ にタッチすると 1 ページ毎に表示を送ることができます。

▼

探している項目が画面に表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

タブスイッチで分類が分かれている場合、◀、▶ にタッチすると画面上部のタブスイッチ（分類）を 1 つずつ送ることができます。

▼

探している分類が画面に表示されたら直接その分類のタブスイッチにタッチします。

他のページに情報があるとき

他のページに情報があるとき、
[前のページ]/[次のページ] や
[前の情報]/[次の情報] などのタッチスイッチを表示します。

▼

他のページ（情報）を表示します。

地図をスクロールするとき

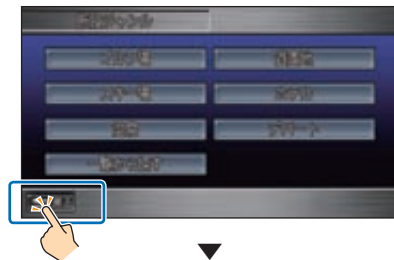
地図画面が表示されているとき、見たい地点にタッチするとその地点が画面の中央に移動します。（地図スクロール）

▼

タッチした部分が画面の中心になるようにスクロールします。また、(実行) (ジョイスティック) を **“上下左右斜めに倒す”** ことでも、スクロールできます。
[現在地] ボタンを押すと現在地に戻ります。

直前の画面に戻るとき

ひとつ前の操作に戻るとき、前のメニューに戻るときは、[戻る] にタッチします。

▼

直前の操作メニューに戻ります。

文字入力のしかた 簡単操作 標準操作

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。文字入力は、各機能の操作の流れで必要になったときに表示します。

① キーボード変更

入力キーボードの文字配列を変更することができます。→「入力キーボードの配列を変更する」(P25)

② かな

入力キーボードを「ひらがな」に切り換えます。

③ カナ

入力キーボードを「カタカナ」に切り換えます。

④ 英数

入力キーボードを「アルファベット」と「数字」と簡単な「記号」に切り換えます。

⑤ 記号

入力キーボードを「記号」に切り換えます。

⑥ 漢字

入力キーボードを **"JIS 第二水準の漢字一覧表"** に切り換えます。

⑦ 大 / 小

入力キーボードを **"大文字を小文字"** に、**"小文字を大文字"** に切り換えます。

⑧ 全 / 半角

入力キーボードを **"全角を半角"** に、**"半角を全角"** に切り換えます。

⑨ スペース

文字間にスペース (空白) を挿入します。

⑩ 無変換

入力した文字 (ピンク色の文字) を変換せずに確定 (白色の文字) します。

⑪ 変換

確定前の文字 (ピンク色の文字) の変換候補を一覧表示します。
変換したい文字にタッチすると、確定 (白色の文字) します。

⑫ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑬ **入力キーボード**

⑭ 改行

長文が入力できる場合のときに、改行することができます。

⑮ 修正

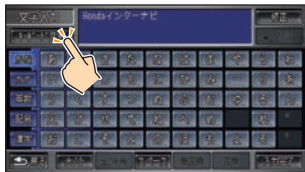
カーソルから一文字分後退し、文字を削除します。タッチし続けると、入力された文字全てを削除します。

⑯ **入力文字表示部**

入力された文字を表示します。
"ピンク色の文字" は確定前の文字で、[変換] で漢字に変換できます。
"白色の文字" は、確定済みで変換はできません。
ジョイスティックを左右に倒すとカーソル位置が変更できます。

入力キーボードの配列を変更する

入力キーボードの配列をパソコンのキーボードと同様の配列にすることができます。

1 キーボード変更 にタッチする

2 JIS 配列 にタッチする

元に戻すときは、[50 音配列] にタッチします。

▼

入力キーボード配列の変更が完了します。

はじめにする 基本操作

まず最初に行っていただきたい3つの操作を説明しています。

簡単操作 標準操作

操作モードを選ぶ

Honda インターナビシステムを操作するには、よく使う機能をわかりやすく表示した「簡単操作モード」と、全機能を操作できる「標準操作モード」の２つから選ぶことができます。

標準操作 から 簡単操作 へ

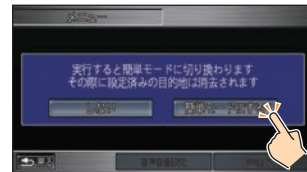
ナビが初めての方には

よく使う機能を簡単に使えるようにまとめた「簡単操作モード」に切り換えます。

1 メニュー を押す

2 簡単モード にタッチする

3 簡単モードにする にタッチする

▼

簡単操作モードに切り換わります。

簡単操作 から 標準操作 へ

いろんな機能を使いたい方には

「簡単操作モード」から全ての機能が使える「標準操作モード」に切り換えます。

1 メニュー を押す

2 標準モードにする にタッチする

3 標準モードにする にタッチする

▼

標準操作モードに切り換わります。

簡単操作 標準操作

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと行き先から帰ってくるとき、とても便利です。

自宅の車庫や駐車場に車を停める

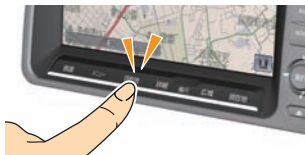
自宅を登録する

自宅に帰るとき *(P71)*
自宅までのルートを簡単に設定できるようになります。

自宅の位置を変更する *(P30)*
位置を間違えたときは、設定しなおすことができます。

簡単操作

簡単操作モードのとき

1 目的地 を押す

2 自宅を登録する にタッチする

3 画面に直接タッチして地図をスクロールするか、(実行)(ジョイスティック)で地図をスクロールし、**自宅の位置**に ⊕ を合わせる

4 自宅セット にタッチする

 マークが表示され、自宅の登録が完了します。

自宅に帰るとき *(P71)*
自宅までのルートを簡単に設定できるようになります。

標準操作

標準操作モードのとき

1 目的地 を押す

2 探し方１ にタッチする

3 自宅登録 にタッチする

4 探し方１ にタッチする

5 地図から にタッチする

6 画面に直接タッチして地図をスクロールするか、(実行)（ジョイスティック）で地図をスクロールし、**自宅の位置**に ⊕ を合わせる

7 自宅セット にタッチする

▼

 マークが表示され、自宅の登録が完了します。

自宅に帰るとき *(P71)*
自宅までのルートを簡単に設定できるようになります。

D はじめにする基本操作

簡単操作 標準操作

自宅の位置を変更する

登録済みの自宅の位置を変更します。

簡単操作

簡単操作モードのとき

1. メニュー → 設定を変える にタッチする
2. 自宅変更 にタッチする
3. 変更したい位置に ⌖ を合わせる

4. 自宅セット にタッチする

▼

自宅の位置の変更が完了します。

標準操作

標準操作モードのとき

1. 目的地 → 探し方１ の よく行く地点 にタッチする
2. 自宅 にタッチする
3. 編集 にタッチする
4. 位置修正 にタッチする
5. 変更したい位置に ⌖ を合わせる

6. 自宅セット にタッチする

▼

自宅の位置の変更が完了します。

簡単操作 標準操作

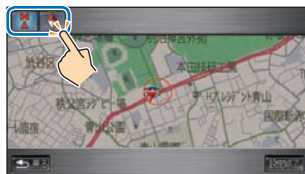
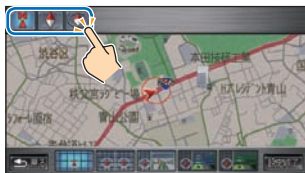
地図の向きを決める

お客様が使いやすい地図の向きをあらかじめ決めておきます。

1 **方位マーク**にタッチする

方位マーク

2 切り換えたい**地図向きのマーク**にタッチする

簡単操作

標準操作

3 設定終了 にタッチする

簡単操作

標準操作

▼

地図向きの変更が完了します。

地図向きの種類

	北を上に表示
	進行方向を上に表示
	3D マップ (標準操作モードのみ)

表示に関すること

表示内容に関する見かたや変更方法について説明しています。

標準操作

地図の表示方法を変える

標準操作モードでは、さまざまな状況に応じて地図の表示方法（マップモード）を変更できます。

マップモードを切り換える

1 **方位マーク**にタッチする

方位マーク

2 **切り換えたいモード**にタッチする

マップモードの種類

3 **設定終了** にタッチする

▼

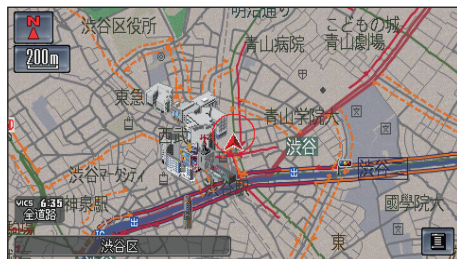
マップモードの変更が完了します。

表示方法の種類

マップモードは次の中から選ぶことができます。

	1 画面地図
	2 画面地図
	ドライビングマップ ドライバー視線で目印となる建物を立体的に表示します。
	行程ガイド 前方のルート案内地点が確認できます。ルート案内中のみ選ぶことができます。
	高速ガイド 前方の高速道路施設が確認できます。高速道路走行中のみ選ぶことができます。

VICS 情報表示について 簡単操作 標準操作

VICS センターから受信した道路交通情報を地図上に表示するときは、渋滞や混雑は矢印で表示し、規制情報や駐車場情報は VICS 情報マークで表示します。

インターナビ情報センターで作成した交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報) の渋滞情報 (渋滞、混雑、順調) については、点線で表示します。

一般道路への表示

VICS センターの渋滞表示	インターナビ情報センターの渋滞表示	状況
		渋滞
		混雑
※ 1	※ 1	順調

有料道路への表示

VICS センターの渋滞表示	インターナビ情報センターの渋滞表示	状況
		渋滞
		混雑
※ 1	※ 1	順調

※ 1 工場出荷時は、表示しない設定になっています。

VICS 情報マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示します。地図上に表示している VICS 情報マークの詳細情報を見ることも可能です。

→「施設の詳細な情報を確認する」(P46)

- 大型通行止め
- 作業
- チェーン規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- 工事中
- 片側交互通行
- 車線規制
- 速度規制 (数字は制限速度)
- 駐車場閉鎖
- 駐車場 (空き:青)
- 駐車場 (混雑:橙)
- 駐車場 (満車:赤)
- 駐車場 (不明:黒)
- 故障車
- 路上障害 (豪雨・地震 ※2)
- 凍結
- 入口制限
- 入口閉鎖
- オフランプ規制
- 対面通行
- 徐行
- タイムズ 24(空き:青) ※2
- タイムズ 24(混雑:橙) ※2
- タイムズ 24(満車:赤) ※2
- タイムズ 24(不明:無色) ※2

※ 2 インターナビ情報センターから取得する情報です。

いろいろなメニュー画面

各ボタンを押したときに表示するメニュー画面を説明します。

① **画面** (→P37)
画面を設定、調節するときに使います。

② **メニュー** (→P36)
メニュー画面にするときに使います。

③ **目的地** (右記参照,P35)
目的地を選ぶときに使います。

④ **SOURCE** (→P38)
オーディオのメディアを切り換えるときに使います。

「目的地」ボタンを押したとき

目的地を設定するためのさまざまな検索メニューが選べます。

簡単操作

① **施設のジャンルで探す**
コンビニやガソリンスタンドなど分類ごとに施設を探します。(→P59)

② **名称で探す**
施設名の一部または地名の一部分を入力して探します。(→P58)

③ **自宅を登録する**
自宅の位置を登録できます。(→P28) 自宅登録後、**自宅に帰る** にメニューが変わり自宅へのルートを設定できます。(→P71)

④ **住所で探す**
施設の住所を入力して探します。(→P61)

⑤ **電話番号で探す**
施設の電話番号を入力して探します。(→P57)

⑥ **目的地を消去する**
設定した目的地を消去できます。(→P76)

・・・次ページへつづく

「目的地」ボタンを押したとき（つづき）

標準操作モードでは、「探し方 1」「探し方 2」の 2 種類から選べます。

標準操作 の 探し方 1

標準操作 の 探し方 2

① 探し方 1 探し方 2
画面メニューを「探し方 1」「探し方 2」に切り換えます。

② 自宅登録
自宅の位置を登録できます。(→ P29) 自宅登録後、自宅へ誘導 にメニューが変わり自宅へのルートを設定できます。(→ P71)

③ 施設ジャンル (→ P59)
コンビニやガソリンスタンドなどの分類ごとに施設を探します。

④ 周辺検索 (→ P60)
現在地周辺や目的地周辺、ルート周辺などの施設を探します。

⑤ 住所 (→ P61)
施設の住所を入力して探します。

⑥ よく行く地点
よく行く地点を登録できます。(→ P50)
また、よく行く地点へのルートを設定できます。(→ P71)

⑦ 電話番号 (→ P57)
施設の電話番号を入力して探します。

⑧ 地図から (→ P66)
地図をスクロールして探します。

⑨ 目的地消去 (→ P76)
設定した目的地を消去できます。

⑩ 名称で探す (→ P58)
施設名の一部分または地名の一部分を入力して探します。

⑪ マップコード (→ P65)
マップコードで特定した場所までのルートを設定できます。

⑫ マークリスト (→ P71)
あらかじめ登録しておいたマークを利用して、ルートを設定できます。

⑬ 目的地履歴 (→ P70)
目的地に設定したことがある場所を再度利用してルートを設定できます。

⑭ 郵便番号 (→ P65)
郵便番号で特定した場所までのルートを設定できます。

⑮ おすすめドライブナビゲーター
全国の観光コースから好きなコースやスポットを利用してルートを設定できます。

⑯ internavi ドライブ情報 通信
インターナビのドライブ情報から好きなスポットを利用してルートを設定できます。

「メニュー」ボタンを押したとき

各種情報の確認や変更および環境の設定を変更することができます。

簡単操作

標準操作

① internavi 情報 通信
通信機能を使った、天気予報 (P85) などを利用できます。

② VICS 交通情報を見る
VICS の情報 (P153) や インターナビ VICS(P154) の情報を確認できます。

③ ルートを変える (→ P75)
ルートの確認や計算条件の変更、誘導中止 / 再開が行えます。

④ 標準モードにする (→ P27)
Honda インターナビシステムを標準操作モードに切り換えます。

⑤ 音声音量を変える (→ P21)
案内音声の音量を変更できます。

⑥ 電話をかける (→ P134)
ハンズフリー電話が使用できます。

⑦ アドレス帳 (→ P158)
アドレス帳を確認できます。

⑧ 付加機能
各種情報の確認 (P164,P166) やシークレットモード (P163) を利用できます。

⑨ 設定を変える (→ P167)
Honda インターナビシステムの環境設定を変更できます。

⑩ VICS
VICS の情報 (P153) や インターナビ VICS(P154) の情報を確認できます。

⑪ ルート (→ P75)
ルートの確認や計算条件の変更、経由地の追加、誘導中止 / 再開が行えます。

⑫ 簡単モード (→ P26)
Honda インターナビシステムを簡単操作モードに切り換えます。

⑬ 音声音量設定 (→ P21)
案内音声の音量を変更できます。

⑭ 電話 (→ P134)
ハンズフリー電話が使用できます。

⑮ 付加機能
各データの編集 (P53) や各種情報の確認 (P164,P166)、シークレットモード (P163) を利用できます。

⑯ 機能設定 (→ P168)
Honda インターナビシステムの環境設定を変更できます。

「画面」ボタンを押したとき

表示に関する情報の確認や変更ができます。

簡単操作

標準操作

① **地図向きを変える** (→P31)
北が上、進行方向が上のいずれかに地図の向きを変更できます。

② **画面明るさ調整**
「明るさ」、「コントラスト」、「黒の濃さ」を調節できます。

③ **画面を消す**
画面表示を消します。[現在地] ボタンで再表示します。

④ **ランドマーク表示** (→P49)
施設の分類ごとにランドマークを表示させることができます。

⑤ **表示の設定を変える**
表示に関する設定を変えることができます。

⑥ **方位・マップモード切換**
北が上、進行方向が上、3D マップのいずれかに地図の向きを変更できます。(→P31)
2 画面、ドライビングマップ、行程ガイド、高速ガイドのいずれかにマップモードを変更できます。(→P32)

⑦ **画面調整**
「明るさ」、「コントラスト」、「黒の濃さ」を調節できます。

⑧ **画面消**
壁紙表示への切り換えや画面表示を消すことができます。
[現在地] ボタンで元に戻ります。

⑨ **右画面縮尺**
2 画面表示時に右画面の縮尺を変更することができます。

⑩ **ランドマーク表示** (→P49)
施設の分類や種類ごとにランドマーク表示を選ぶことができます。

⑪ **表示設定**
表示に関する設定を変えることができます。

「SOURCE」ボタンを押したとき

オーディオのメディアを切り換えるときに使用します。
各メディアの操作画面ではさまざまな機能の操作が可能となります。

簡単操作 標準操作

※ 画面の表示内容は一例です。
接続状況により異なることがあります。

① AM (→ P94)
AM の操作画面が表示され、最後に選ばれていた放送局を受信します。

② FM (→ P94)
FM の操作画面が表示され、最後に選ばれていた放送局を受信します。

③ HDD Sound Container (→ P110)
HDD サウンドコンテナの操作画面が表示され、最後に再生されていた曲を再生します。

④ TV (→ P101)
テレビの操作画面が表示され、最後に選ばれていた放送局を受信します。

⑤ CD (→ P96)
または DVD (→ P104)
CD(MP3,WMA 含む) または DVD ビデオを挿入するとスイッチ名が [DISC] から変わります。
CD(MP3,WMA 含む) のとき
操作画面が表示され、最後に再生されていた曲を再生します。
DVD ビデオのとき
最後に再生されていた部分の続きから再生します。

⑥ 交通情報 (→ P93)
交通情報を受信します。
1620kHz と 1629kHz が選べます。

地図をスクロールしたとき（ポイントメニューの表示）

地図をスクロールさせるとポイントメニューが表示され、カーソル地点を目的地に設定したりカーソル地点周辺の情報を確認することができます。

簡単操作

標準操作

ポイントメニュー

① internavi VICS 接続 通信 (→P154)
インターナビ情報センターに接続し、カーソル地点 ( ) 周辺の VICS 情報を取得します。

② 周辺検索 (→P63)
カーソル地点 ( ) 周辺の施設を分類や種類ごとに探すことができます。

③ 目的地セット (→P69)
カーソル地点 ( ) を目的地に設定することができます。カーソル地点までのルートを計算したあと案内開始画面を表示します。

④ マークセット (→P53)
カーソル地点 ( ) をマークリストに登録することができます。登録したマークの情報は後で編集することができます。

⑤ 情報 (→P46)
カーソル地点 ( ) の施設に情報があるときに表示します。[情報] にタッチすると施設の情報を表示します。ランドマークを選んでいたときは [非表示] でランドマークを個別に非表示にすることもできます。

目 にタッチしたとき (ワンプッシュメニュー / カスタマイズメニューの表示)

よく使う機能を集めたメニューを表示します。
標準操作モードでは、お好みのメニューに変更できます。

簡単操作

▼

標準操作

▼

① 地図向きを変える (→ P31)
北が上、進行方向が上のいずれかに地図の向きを変更することができます。

② 前回の検索地点
前回探した場所周辺の地図を表示します。

③ internavi ダイレクト 通信 (→ P85)
[メニュー] ボタン→ [付加機能] → [カスタマイズ] → [internavi ダイレクト] でよく使う internavi 情報を登録しておくことができます (標準操作モードのみ)。複雑な操作なしで internavi の情報を簡単に確認できます。

④ **カスタマイズできるメニュー**
[メニュー] ボタン→ [付加機能] → [カスタマイズ] → [カスタマイズメニュー] でよく使う機能を集めてお好みのメニューに変更することができます。

簡単操作 標準操作

走行中に表示する案内

ここでは走行中に行われるさまざまな案内について説明します。

車のふらつきが大きくなると・・・

車のふらつきを検知すると、音声とテロップ表示で警報します。(ふらつき検知警報)

速い速度でカーブに近づくと・・・

速い速度でカーブを走行しようとすると音声とテロップ表示で警告します。(カーブ警告)

シートベルト警告

運転席のシートベルトが装着されていないときは音声で警告します。

パーキングブレーキ警告

パーキングブレーキがかかった状態で走行すると、音声で警告します。

県境に近づくと・・・

県境に近づくと、音声とテロップ表示で案内します。(県境案内)

都市高速マップ

都市高速道路を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要幹線道路、インターチェンジのみの表示に切り換わります。
(標準操作モードのみ)

通常 1 画面地図

▼

都市高速マップ表示中

E

表示に関すること

ルート案内中の表示

ここではルート案内中に行われるさまざまな案内について説明します。

案内地点　案内地点表示　直線誘導線表示

案内地点に近づくと・・・

案内地点の手前300m(高速道路では手前1km)に近づくと、拡大図となり、交差点の曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。

拡大図

リアル拡大図

案内地点の手前300mに近づくとリアル拡大図の情報がある交差点で表示され、曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。(データがある交差点のみ)

方面看板表示

案内地点の手前500mに近づくと一般道方面看板を表示します。(東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ)

方面看板表示

レーン情報

複数のレーンが存在する場合、レーン情報を表示します。

レーン情報

繁華街に近づくと・・・

目的地が繁華街にある場合、繁華街に近づくと、周辺の駐車場を検索して表示します。
(駐車場オートガイド(→P64)/繁華街駐車場)

E 表示に関すること

合流地点に近づくと・・・

高速道路および都市高速を走行中、700m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。JCT 渡り路を走行中、300m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示 (、) で案内します。(合流案内)

踏み切りに近づくと・・・

ルート案内中、300m 前方に踏み切りが存在する場合、音声とマーク表示 ( ) で案内します。(踏み切り案内)

事故多発地点に近づくと・・・

ルート案内中、600m 前方に事故多発地点が存在する場合、音声とマーク表示 ( ) で案内します。(事故多発地点案内)

都市高速入口に近づくと・・・

ルート上の都市高速入口の手前 300m に近づくと、イラストを表示します。
(データがある都市高速入口のみ)

高速道路の分岐に近づくと・・・

ルート上の高速道路分岐 (ジャンクション) の手前 1km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。都市高速・都市間高速ではイラストを表示します。
(データがあるジャンクションのみ)

行程ガイド

ルート案内中にマップモードの「行程ガイド」を選ぶと表示します。(標準操作モードのみ)
→「地図の表示方法を変える」(P32)

目的地 (経由地) に近づくと・・・

目的地 (経由地) の約 100m 手前に近づくと、「まもなく目的地 (経由地) 周辺です。」と案内します。

Honda からのお知らせがあると 通信

重要なお知らせや地図更新時期などをお知らせします。また、豪雨や地震の際の警告も文字で表示します。

→「Honda からのお知らせを確認する」(P84)

新しい道路の情報があると 通信

ルート計算時にインターナビ情報センターからの情報で、ルート周辺に新しい道路が見つかったとき、新しい道路のデータを取得することができます。(新規道路データ配信)

→「新しい道路の情報があったとき」(P73)

簡単操作 標準操作

高速道路の施設を確認する

高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。

出口施設 (ルート案内中のみ表示)

次の高速道路施設

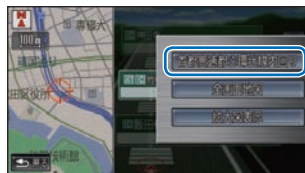
先の高速道路施設

ジャンクションの分岐先の情報を見る

ルートを案内していないときはジャンクションの分岐先の情報を確認することができます。

1 **ジャンクション**にタッチする

2 **確認したい分岐先**にタッチする

▼

分岐先の高速ガイドを表示します。

サービスエリアやパーキングエリアの情報を見る

画面にサービスエリアやパーキングエリアの施設情報が表示されているときは、施設の詳細情報を見ることができます。

1 情報が見たい施設の 情報 にタッチする

2 詳細情報 にタッチする

▼

施設の詳細情報を表示します。

簡単操作 標準操作

施設の詳細な情報を確認する

検索した施設の詳細情報を見ることができます。

1 **確認したい施設**に ⌖ を合わせる

ℹ を表示する施設は詳細な情報を確認することができます。

2 ℹ 情報 にタッチする

▼

施設の詳細情報を表示します。
⌖ を合わせる施設によってさまざまな情報を表示します。

建物の絵に合わせたとき

1 **確認したい施設**に ⌖ を合わせる

ℹ を表示する施設は詳細な情報を確認することができます。

2 ℹ 情報 にタッチする

▼

建物の詳細情報を表示します。

建物内に複数の施設があったとき・・・

建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストを表示します。店舗を選んでタッチしてください。

標準操作

壁紙を設定する

USB メモリーなどに保存されている画像を壁紙に設定できます。

壁紙を表示する

1 画面 → 画面消 にタッチする

▼

壁紙を表示します。

▼

しばらく何もしなければ、メニューが消え、壁紙画像のみの表示になります。
(画面にタッチするとメニューを再表示します。)

表示する壁紙を変更する

USB メモリーなどに保存されている画像を壁紙に設定します。

1 画面 → 画面消 にタッチする

2 壁紙設定 にタッチする

3 **壁紙にしたい画像**にタッチする

4 壁紙セット にタッチする

▼

壁紙の設定が完了します。
しばらくこのまま操作しなければ、壁紙のみの表示に切り換わります。

画像を確認する

壁紙に設定せずに画像を確認することができます。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 壁紙設定 にタッチする

▼

画像データのリストを表示します。

3 **見たい画像**にタッチする

4 画像確認 にタッチする

▼

選んだ画像を表示します。

画像を保存する

USB メモリー内の画像をハードディスクに、またハードディスク内の画像をUSB メモリーに保存することができます。

「画像を確認する」(P47) の手順 4 まで操作した後に・・・

1 画像保存 にタッチする

選んだ画像を保存します。

画像を消去する

画像を選んで消去できます。USB メモリー内の画像も消去することができます。

「画像を確認する」(P47) の手順 2 まで操作した後に・・・

1 **消去したい画像**にタッチする

2 消去 にタッチする

3 消去する にタッチする

選んだ画像を消去します。

お知らせ

[Honda ナビゲーション] と [星空] は消去することができません。

簡単操作 標準操作

表示するランドマークを選ぶ

表示するランドマークを分類ごとに選ぶことができます。

1 画面 → ランドマーク表示 にタッチする

2 ランドマークの**設定したい分類**にタッチする

分類

簡単操作モードでは、[表示する] と [表示しない] の切り換えのみになり、以降の操作は必要ありません。

3 いずれかにタッチする

全表示する	分類内すべての種類のランドマークを表示します。
表示しない	ランドマークを非表示にします。
□ □ □	詳細設定で選んだランドマークの種類のみを表示します。
詳細設定	好みのランドマークの種類を選びます。

▼

“表示する”が設定されると、分類の色が変わります。引き続き表示する / 表示しないを選ぶことができます。

場所を登録する

目的地や経由地の設定に利用できるよく行く地点や目印になる場所を登録することができます。

標準操作

よく行く場所を登録する

頻繁に目的地や経由地に設定する場所は登録しておきましょう。

登録したい場所を決める

よく行く地点に登録する

よく行く地点に行くとき *(P71)*
よく行く地点までのルートが簡単に設定できるようになります。

よく行く地点の情報を確認 / 編集する *(P51)*
位置や情報を編集できます。

よく行く地点を登録するには

あらかじめ気に入った場所を探して、「よく行く地点」に登録することができます。

1
目的地 → 探し方 1 の よく行く地点 にタッチする

2 いずれかの 未登録 にタッチする

3 場所を探す

→「場所を探す」(P57)

4 地点〇セット にタッチする

▼

探した場所を、よく行く地点のリストに登録します。

よく行く地点の情報を確認 / 編集する

よく行く地点に関する情報を確認したり、変更することができます。

1 目的地 → 探し方 1 の よく行く地点 にタッチする

2 確認 / 変更したい地点 にタッチする

3 編集 にタッチする

▼

確認したいよく行く地点の情報を表示します。

4 編集したい項目にタッチし、設定する

項目	内容
名称	よく行く地点の名称を変更できます。
読み	名称の読みを入力できます。入力した読みは「接近音声」で使用できます。
マーク	変更できません。
接近音声	自車がよく行く地点に接近したときに発せられる音声を変更できます。
方向 / 距離	「接近音声」での接近方向と接近距離を変更できます。
地図上に表示	[しない] に設定すると、地図上でマークを非表示にします。
位置修正	全画面地図が表示され、よく行く地点の位置を修正できます。
電話番号	入力しておくと電話番号で場所を探すとき *(P57)* に使用できます。
メモ	よく行く地点に関するメモを入力できます。すでにメモが入力済みのときは [メモ編集] にタッチします。

4 つづき・・・

項目	内容
画像	壁紙リストから画像を選んで登録できます。
E-Mail	メールアドレスを入力できます。
詳細情報	マークリストの時に使用できます。→「マークの情報を確認 / 編集する」(P54)
アドレス帳登録	このよく行く地点の名称、読み、電話番号、E-Mail をアドレス帳に登録することができます。→「アドレス帳を使う」(P158)
発信	本機に、携帯電話を接続 *(P80)* していれば、このよく行く地点に電話をかけることができます。

▼

情報の変更が完了します。

マークとは何が違うの？

「よく行く地点」は、「マーク」に比べ簡単な操作で目的地や経由地に設定することができます。また、登録できるのが「自宅」を除き、最大 5 件ということもあり、リストから探し出すことが容易に行えます。

よく行く地点を消去する

よく行く地点を消去することができます。

1 目的地 → 探し方１ の よく行く地点 にタッチする

2 **消去したい地点**にタッチする

3 消去 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

よく行く地点の消去が完了します。

標準操作

好みのマークで場所を登録する

友人宅やお気に入りの場所にマークを付けて登録することができます。

登録したい場所を決める

▼

マークに登録する

マークの場所に行くとき (P71)
マークまでのルートが簡単に設定できるようになります。

マークの情報を確認 / 編集する (P54)
位置やマーク、情報を編集できます。

マークを登録するには

お好みの場所をマークで登録するときは、以下のような操作で行います。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 データ編集 → マークリスト にタッチする

3 新規登録 にタッチする

4 場所を探す

→「場所を探す」(P57)

5 マークセット にタッチする

▼

マークの登録が完了します。

よく行く地点とは何が違うの？

45 種類のマーク (アイコン) で用途別に最大 200 件まで登録することができます。
また、パーソナル・ホームページにアクセスすることによって、ご自宅のパソコンから新しいマーク地点を追加することができます。詳しくは「パーソナル･ホームページと同期する」(P55) を参照してください。

マークの情報を確認 / 編集する

マークに関する情報を確認したり、変更することができます。

1 **メニュー** → **付加機能** にタッチする

2 **データ編集** → **マークリスト** にタッチする

3 **確認 / 編集したいマーク** にタッチする

4 **マーク情報** にタッチする

▼

確認したいマークの情報を表示します。

5 **編集したい項目**にタッチし、設定する

名称	マークの名称を変更できます。
読み	名称の読みを入力できます。入力した読みは「接近音声」で使用できます。
マーク	45 種類から選ぶことができます。
接近音声	自車がマークに接近したときに発せられる音声を変更できます。
方向 / 距離	「接近音声」での接近方向と接近距離を変更できます。
地図上に表示	[しない] に設定すると、地図上でマークを非表示にします。
位置修正	全画面地図が表示され、マークの位置を修正できます。
電話番号	入力しておくと電話番号で場所を探すとき *(P57)* に使用できます。
メモ	マークに関するメモを入力できます。すでにメモが入力済みのときは [メモ編集] にタッチします。
画像	壁紙リストから画像を選んで登録できます。

5 つづき・・・

E-Mail	メールアドレスを入力できます。
詳細情報	パーソナル・ホームページで登録した「My スポット」を同期しておくと、詳細な情報を確認することができます。
アドレス帳登録	このマークの名称、読み、電話番号、E-Mail をアドレス帳に登録することができます。*→「アドレス帳を使う」(P158)*
発信	本機に、携帯電話を接続 *(P80)* していれば、このマークの場所に電話をかけることができます。

▼

情報の変更が完了します。

マークを消去する

マークを消去することができます。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 データ編集 → マークリスト にタッチする

3 **消去したいマーク**にタッチする

4 消去 にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

選んだマークの消去が完了します。

パーソナル・ホームページと同期する 通信

登録していたマークリストと、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報を同期させて、最新情報に更新します。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 データ編集 → マークリスト にタッチする

3 設定 にタッチする

4 パーソナル HP と同期 にタッチする

▼

インターナビ情報センターとの同期が始まります。

お願い

同期中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしないでください。

パーソナル・ホームページとは !?

インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスで、自宅のパソコンからルート計算したり車のメンテナンス状況を管理することができます。インターナビ・プレミアムクラブについては、「インターナビの通信サービスを使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」(P78)を参照してください。

USB メモリーへマークの保存 / 読み込み

マークを USB メモリーに保存したり読み込んだりすることができます。

→「USB メモリーを接続する」(P123)

USB メモリーにマークを保存する

本機を修理に出したときなどに消えてしまうと困る大事な場所などは、USB メモリーに保存してバックアップをとっておくことができます。

「マークを登録するには」(P53) の手順 2 まで操作した後に・・・

1 設定 → USB メモリー にタッチする

2 データ保存 にタッチする

3 **保存したいマーク**にタッチする

▼

USB メモリーにマークを保存します。

USB メモリーからマークを読み込む

USB メモリーに保存されたマークを読み込むことができます。

「マークを登録するには」(P53) の手順 2 まで操作した後に・・・

1 設定 → USB メモリー にタッチする

2 データ読み込み にタッチする

▼

USB メモリー内のマークのリスト画面が表示されます。

3 **読み込みたいマーク**にタッチする

▼

USB メモリーからの読み込みが完了します。

USB メモリーのマークを消去する

USB メモリー内のマークを消去することができます。

「マークを登録するには」(P53) の手順 2 まで操作した後に・・・

1 設定 → USB メモリー にタッチする

2 データ消去 にタッチする

▼

USB メモリー内のマークのリスト画面が表示されます。

3 **消去したいマーク**にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

USBメモリー内の選んだマークを消去します。

簡単操作 標準操作

特定の施設を探す

電話番号や施設の名称がわかっているとき、簡単に探せます。

場所を探す方法を決める

▼

電話番号や**施設の名称**で、
場所を探す

場所を探した後にできること *(P67)*
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

電話番号がわかっているとき

探している施設の電話番号がわかっているときに便利です。

1
簡単操作
目的地 → **電話番号で探す**
にタッチする

標準操作
目的地 → **探し方１** の
電話番号 にタッチする

2 電話番号を入力する

3 **検索開始** にタッチする

場所を探した後にできること *(P67)*
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

施設名がわかっているとき

宿泊施設やレジャー施設など、施設名がわかっているときに便利です。

1

簡単操作

目的地 → 名称で探す にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方２ の 名称で探す にタッチする

2 施設名 にタッチする

3 **施設の名称**を入力する

4 検索開始 にタッチする

5 **探している施設**にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

H
場所を探す

駅を探しているとき

地域と駅名がわかっていると、駅を探すことができます。

1

簡単操作

目的地 → 施設のジャンルで探す にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方１ の 施設ジャンル にタッチする

2

一覧から探す にタッチする

3

交通 → **路線の分類** にタッチする

4

都道府県にタッチする

5

探している駅にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

標準操作

近くの施設を探す

現在地やルート周辺、探した場所から周辺の施設を探すことができます。

コンビニやガソリンスタンドなど、探すジャンルを決める

現在地や目的地周辺の施設を探す

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

近くにある施設を探すとき

コンビニやガソリンスタンドなど、現在地周辺の施設、またはルート案内中はルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探すことができます。

1 目的地 → 探し方１ の 周辺検索 にタッチする

2 いずれかにタッチする

3 **探している施設のジャンル**にタッチする

4 **探している施設**にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

簡単操作 標準操作

友人・知人宅を探す

住所や地名がわかっていると、友人や知人宅を探すことができます。

場所を探す方法を決める

住所や地名を使って場所を探す

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

住所がわかっているとき

住所で探すことができます。

1

簡単操作

目的地 → 住所で探す
にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方１ の 住所
にタッチする

2 **都道府県**にタッチする

3 **市区町村**にタッチする

4 **地名（丁目）**にタッチする

5 引き続き**番地**および**号**
にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

地名がわかっているとき

地名を入力して探すことができます。

1

簡単操作

目的地 → 名称で探す

にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方２ の

名称で探す にタッチする

2 地名 にタッチする

3 探している地名を入力する

4 検索開始 にタッチする

5 探している場所にタッチする

場所を探した後にできること (P67)

場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

H

場所を探す

簡単操作 標準操作

駐車場を探す

指定する地域の駐車場を探すことができます。

1 簡単操作

目的地 → 施設のジャンルで探す
にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方 1 の
施設ジャンル にタッチする

2 一覧から探す にタッチする

3 車 → 駐車場 にタッチする

4 駐車場データ または
VICS 駐車場 にタッチする

5 **探している駐車場のある都道府県**
にタッチする

6 **探している駐車場**にタッチする

場所を探した後にできること *(P67)*
場所が決まったら目的地や経由地の設定、
場所の登録ができます。

駅周辺の駐車場を探すとき

駅を探したあと、駅周辺にある駐車場を
探すことができます。

「駅を探しているとき」(P59) の
手順 5 まで操作した後に・・・

1 周辺検索 にタッチする

2 車 → 駐車場 にタッチする

3 駐車場データ または
VICS 駐車場 にタッチする

4 **探している駐車場**にタッチする

場所を探した後にできること *(P67)*
場所が決まったら目的地や経由地の設定、
場所の登録ができます。

H

場所を探す

近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト）通信

インターナビ VICS の情報から現在地周辺やルート沿いの駐車場を探すことができます。

1 現在地 → ▣ にタッチする

2 internavi ダイレクト → 駐車場セレクト にタッチする

▼

推奨する駐車場周辺の地図を表示します。

❗駐車場セレクトとは !?

インターナビ VICS の駐車場情報をあらかじめ設定した条件で、表示することができる機能のことです。表示する優先順位を決めたり表示件数を絞り込むことができます。

自動で駐車場を指定するとき

自動的に推奨の駐車場までのルートを案内させることができます。（駐車場オートガイド）

1 オートガイド にタッチする

推奨の駐車場までのルート案内を開始します。
最初の駐車場候補に到着するとメッセージを表示します。

案内された駐車場に車を停めるときは・・・

2 しない にタッチする

別の駐車場を選ぶ場合は、[誘導する] にタッチし、手順 1 に戻ります。

駐車場オートガイドが終了します。

❗駐車場オートガイドとは !?

推奨する駐車場を自動的に案内する機能です。工場出荷時の状態では現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。

手動で駐車場を指定するとき

リストを表示して、利用したい駐車場を指定することができます。

1 リスト表示 にタッチする

2 **お好みの駐車場**にタッチする

場所を探した後にできること *(P67)*
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

標準操作

その他の方法で探す

郵便番号やマップコードを利用して場所やエリアを特定することができます。

場所を探す方法を決める

郵便番号やマップコードを使って場所を特定する

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

マップコードとは !?

特定の場所の位置データをコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「＊」(アスタリスク) でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

郵便番号がわかっているとき

郵便番号を入力してエリアを特定することができます。

1. 目的地 → 探し方２ の 郵便番号 にタッチする
2. 郵便番号を入力する
3. 検索開始 にタッチする
4. 場所にタッチする

5. 丁目や番号、号にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

マップコードがわかっているとき

マップコードを入力して場所やエリアを特定することができます。

1. 目的地 → 探し方２ の マップコード にタッチする
2. マップコードを入力する

3. 検索開始 にタッチする

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

地図をスクロールして探すとき

地図をスクロールして、場所を探します。
現在地から近い場所を目的地や経由地、登録地にするときに便利です。

1 目的地 → 探し方１ の 地図から にタッチする

2 **探している位置**に を合わせる

場所を探した後にできること (P67)
場所が決まったら目的地や経由地の設定、場所の登録ができます。

H
場所を探す

簡単操作 標準操作

場所を探した後にできること

目的地など、探していた場所が決まったら、状況によってさまざまな操作が可能になります。

場所を探す (P57 ～ P66)

▼

▼

目的地や**経由地**の設定、
場所の登録ができるようになります。

目的地セット にタッチすると・・・

探した場所を目的地に設定し、ルート計算を開始します。ひきつづき [案内開始] にタッチすることでルート案内を開始します。
(→ P69)

経由地セット にタッチすると・・・

探した場所を経由地に設定します。ひきつづき [ルート再計算] → [案内開始] にタッチすることでルート案内を開始します。

マークセット にタッチすると・・・

マークをつけて登録します。再度同じ場所を探すときに使用したり、地図上にマークを表示したり、リストで管理することができます。
(→ P53)

周辺検索 にタッチすると・・・

現在地またはスクロール地点 (地図上のカーソルの位置) などの周辺から、施設を検索することができます。
(→ P63)

internavi VICS 接続 通信 にタッチすると・・・

インターナビ VICS センターに接続し、探した場所周辺の VICS 情報を取得します。
(→ P154)

i 情報 にタッチすると・・・

選んだ施設や地点に詳細情報があれば、情報や地図を表示することができます。自宅やよく行く地点の場合は、編集画面が表示され編集することができます。施設の詳細画面では、酒 ( )、タバコ ( )、ATM( )、24 時間営業 ( )、ドライブスルー ( ) の取り扱いがわかるようにアイコンを表示します。
(→ P46)

全画面地図 にタッチすると・・・

地図を全画面で表示します。場所をさらに細かく探すことができます。

マーク情報 にタッチすると・・・

マークの編集画面を表示します。マークの情報を編集することができます。
(→ P54)

・・・次ページへつづく

編集 にタッチすると・・・

よく行く地点の情報を編集することができます。(→P51)

消去 にタッチすると・・・

マークやよく行く地点、目的地履歴を消去することができます。

提携駐車場 にタッチすると・・・

選んだ施設に提携駐車場がある場合は、リストと地図を表示することができます。
また、出入り口があれば合わせて表示します。

出入口 にタッチすると・・・

選んだ施設に出入り口がある場合はリストと地図を表示することができます。

地点○セット にタッチすると・・・

よく行く地点の登録時や位置修正時に表示します。「○」には「1」～「5」の数字が入ります。

探した場所に行く

「場所を探す」(P57) で探した場所を目的地に設定します。

場所を探す (P57～P66)

▼

目的地として設定する

▼

案内開始する

簡単操作 標準操作

目的地を設定するには

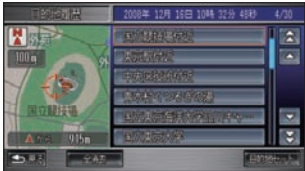
「場所を探す」(P57～P66) の方法で場所が見つかったらそのまま目的地に設定することができます。

1 目的地セット にタッチする

ルート計算が始まります。

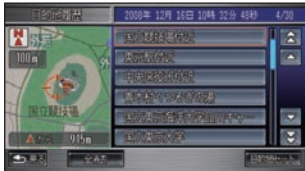
2 案内開始 にタッチする

▼

目的地までのルート案内を開始します。

ルートを設定する

さまざまな方法で目的地（経由地）を設定し、ルート計算を行います。

標準操作

最近行った場所にもう一度行くとき

目的地や経由地を設定した場合、その場所を履歴として最大 100 件保存します。
その履歴から再度、目的地や経由地に設定できます。

1 目的地 → 探し方２ の 目的地履歴 にタッチする

2 **探している施設**にタッチする

3 目的地セット にタッチする

4 案内開始 にタッチする

▼

目的地までのルート案内を開始します。

履歴を消去するとき

1 目的地 → 探し方２ の 目的地履歴 にタッチする

2 **消去したい履歴**にタッチする

3 消去 にタッチする

4 消去する にタッチする

選んだ履歴の消去が完了します。

登録した場所に行く

自宅やよく行く地点、マークなどあらかじめ登録した場所を目的地に設定します。

簡単操作 標準操作

自宅に帰るとき

自宅が登録されている場合は、自宅へルートを簡単に設定することができます。

1 簡単操作

目的地 → 自宅に帰る にタッチする

標準操作

目的地 → 探し方１ の 自宅へ誘導 にタッチする

2 案内開始 にタッチする

▼

自宅までのルート案内を開始します。

標準操作

よく行く地点に行くとき

［よく行く地点］として登録された場所がある場合は、よく行く地点を目的地に設定できます。

1 目的地 → 探し方１ の よく行く地点 にタッチする

2 行きたい地点にタッチする

3 目的地セット にタッチする

4 案内開始 にタッチする

▼

よく行く地点までのルート案内を開始します。

標準操作

マークの場所に行くとき

地図につけたマークの位置やパーソナル・ホームページとの同期 (P55) を行うことによって取得したデータの位置を目的地に設定できます。

1 目的地 → 探し方２ の マークリスト にタッチする

2 行きたい地点にタッチする

3 目的地セット にタッチする

4 案内開始 にタッチする

▼

マークまでのルート案内を開始します。

「案内開始」の前にできること

ルート計算後、「案内開始」をする前にできる操作を説明します。

ルート案内開始画面の見かた

① **情報の表示**
現在計算されているルートの所要時間、総距離、料金を表示します。

② **利用するインターチェンジ**
利用する高速道路の最初のインターチェンジと最後のインターチェンジを表示します。

③ **ルート表示**
現在計算されているルートの概略を表示します。

④ 案内開始
現在計算されているルートの案内を開始します。

⑤ 新規道取得 通信
ルート周辺に新しい道路の情報があったとき、このタッチスイッチを表示します。
候補の路線を **“赤紫の線”** で表示しますので取得する場合は [新規道取得] にタッチしてください。
通信で道路データを取得し、地図情報を更新することができます。(新規道路データ配信)

⑥ 5 ルート
異なる条件で計算する 5 本のルートから好みのルートを選ぶことができます。

⑦ 経由地設定※1
目的地までのルートで立ち寄りたい場所があれば、経由地として追加することができます。

⑧ ルート情報※1
現在地から目的地までに通る道路名や区間距離をリスト形式で確認できます。

⑨ IC 指定※1
高速道路を使うルートを設定したとき、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。
また、高速道路によっては IC が指定できないことがあります。

⑩ **計算条件表示**
現在計算されているルートの計算条件を表示します。

※ 1 標準操作モードのみの機能となります。

簡単操作 標準操作

新しい道路の情報があったとき 通信

ルート計算時にルート周辺に新しい道路が見つかったとき、新しい道路のデータを取得することができます。（新規道路データ配信）

ルート計算時に新しい道路が見つかったとき・・・

1 新規道取得 にタッチする

ルート周辺の新規道路を強調表示します。縮尺によっては強調表示が表示されない場合があります。

2 確認 にタッチする

2 つづき・・・

▼

認証が行われます。認証後､新規道路データのダウンロードが行われます。

▼

ダウンロード完了後、システムの再起動が必要となります。

3 再起動する にタッチする

▼

新しい道路のデータの取得が完了します。

▼

新しい道路も考慮したルート計算が行われルート案内を開始します。

J

ルート設定後にできること

ルート設定し、案内開始後にルートの確認や計算条件の変更、経由地の追加などができます。

簡単操作 標準操作

ルートを確認する

ルート案内開始後に、設定されたルートに関するいろいろな情報を確認できます。

ルートの全体を表示する

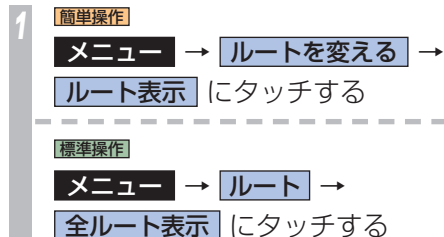
全ルートを 1 つの画面内で表示します。

1 簡単操作

メニュー → ルートを変える → ルート表示 にタッチする

標準操作

メニュー → ルート → 全ルート表示 にタッチする

▼

簡単操作

標準操作

全ルート画面を表示します。

ルートスクロール にタッチすると・・・

出発地から目的地までのルートをなぞるように地図をスクロールして、設定されたルートを確認できます。

ルート情報 にタッチすると・・・

リスト形式で現在地から目的地までの通る道路名や区間距離、高速道路の料金などの情報を確認できます。

区間表示 にタッチすると・・・

現在地から経由地、経由地から目的地、入口IC/ 出口 IC などの区間地図を表示します。

簡単操作 標準操作

ルートを変更する

計算条件の変更や経由地の設定を行うことでルート変更ができます。

簡単操作

簡単操作モードのとき

1

メニュー → ルートを変える にタッチする

▼

ルート再計算 にタッチすると・・・

設定されているルートをもう一度同じ計算条件で計算しなおすことができます。

ルート表示 にタッチすると・・・

全ルートを１つの画面内で表示します。*(P74)*
続いて [5 ルート] にタッチすると、計算条件の異なるルート候補 (最大５本) から、お好みのルートに変更することができます。

誘導中止 にタッチすると・・・

目的地を設定したままルート案内を中止することができます。
案内を再開するときは、[誘導開始] にタッチします。

標準操作

標準操作モードのとき

1

メニュー → ルート にタッチする

ルート再計算 にタッチすると・・・

設定されているルートをもう一度同じ計算条件で計算しなおすことができます。

５ルート計算 にタッチすると・・・

計算条件の異なるルート候補(最大５本)から、お好みのルートに変更することができます。

迂回計算 にタッチすると・・・

現在地から 2km、5km、10km 先までを迂回して、元のルートに戻ることができます。
高速道路を走行中は、高速道路を使用しないルートに設定したり、高速道路を一時回避するルートを選ぶことができます。

・・・次ページへつづく

誘導中止 にタッチすると・・・

目的地を設定したままルート案内を中止することができます。
案内を再開するときは、[誘導開始] にタッチします。

計算条件変更 にタッチすると・・・

計算条件のメニューが表示され、設定されているルートの計算条件を変えて再計算させることができます。

IC 指定 にタッチすると・・・

高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。
また、高速道路によっては IC が指定できないことがあります。

全ルート表示 にタッチすると・・・

すべてのルートを 1 つの画面内で表示します。(→ P74)

経由地リスト にタッチすると・・・

立ち寄る場所 (経由地) の追加、変更、消去ができます。

目的地を消去する

設定した経由地や目的地を消去して、ルート案内を終了させるときに行います。

1

簡単操作

目的地 → 目的地を消去する にタッチする

標準操作

目的地 → 目的地消去 にタッチする

目的地の消去が完了します。

通信機能をご利用になる前に

インターナビ・プレミアムクラブへのご入会

通信機能を使って、インターナビ・プレミアムクラブの各種サービスをご利用いただくためには、インターナビ・プレミアムクラブへのご入会があらかじめ必要となります。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

携帯電話について

携帯電話は、Bluetooth(ブルートゥース) 方式に対応しているものを使用してください。また、Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。詳しくは、Honda 販売店にご相談ください。

携帯電話の種類によってはご利用いただける機能に制限がある場合があります。

Bluetooth 方式以外の携帯電話でも市販のアダプターを装着することで Bluetooth 接続が可能なものもあります。詳しくは、Honda 販売店にご相談ください。

通信カードはウィルコムのみ対応しています。ただし、別売の USB 接続ケーブルおよびウィルコム インターナビ・データ通信 USB が必要です。
詳しくは、Honda 販売店にご相談ください。

携帯電話の対応機種や設定方法については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新のサービス内容は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
http://www.premium-club.jp/

! Bluetooth とは !?

パソコン、ミュージックプレーヤー、デジタルカメラなどの電子機器同士をワイヤレスで通信できる最先端のテクノロジー規格です。

Bluetooth®

Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能を使用することができます。

インターナビの通信サービスを使う

Hondaからのお知らせや気象情報を確認するなどのサービスを利用できます。

K

インターナビ・プレミアムクラブとは

インターナビ・プレミアムクラブとは、より安全で快適なカーライフを実現する、
Honda 車オーナーのための新しいドライブ情報サービスネットワークです。

- インターナビ VICS(→P152)
- 駐車場セレクト(→P64)

インターナビ情報受信後

安心のドライブ支援

- インターナビウェザー(→P85)

最新の地図情報提供

- 新規道路データ配信(→P86)
- スマート全地図更新（1 回無料）

internavi Premium Club

配信対象道路の表示

新規道路データ配信後

パーソナル・ホームページ

- スポット情報の同期(→P55)
- ドライブプランニング
- 出発時刻アドバイザー
- メンテナンス情報

K

インターナビの通信サービスを使う

通信

こんなことができます

Honda 独自のテレマティクスサービスで、出発から目的地まで安心・快適なドライブをサポートします。

詳しい内容は「登録完了のお知らせ」に同封の「インターナビ使い方ブック」をご覧ください。

フローティングカーシステム
（→P152）
Honda 車同士が交通情報を共有することで通常の VICS 情報がない道路もカバーします。

新規道路データ配信（→P86）
ルート周辺に重要な道路が開通したときは、通信で地図データを更新します。特に重要な道路は、開通当日にデータを配信します。

駐車場セレクト（→P64）
車両のサイズに合わせて駐車可能な駐車場を案内します。料金や満空情報などの条件設定も可能です。

QQ コール
（有料オプション）
万が一のトラブルに 24 時間 365 日、手厚いアシスタントサービスを受けられます。

Bluetooth 携帯電話接続（→P81）
登録した Bluetooth 対応携帯電話を車内に持ち込むだけでワイヤレスでデータ通信が可能です。

パーソナル・ホームページ
お客様専用のホームページでドライブスポットやメンテナンス情報を管理できます。Honda インターナビシステムと通信で同期できます。

出発時刻アドバイザー
パーソナル・ホームページで目的地と到着希望時刻を入力すると、出発時刻とルートがわかります。

インターナビ VICS（→P152）
目的地までの交通情報をお客様が知りたいときに受信でき、ルートを誘導します。

インターナビウェザー（→P85）
目的地までの気象情報をわかりやすく提供します。豪雨や地震情報で安全なドライブを支援します。

簡単操作 標準操作

通信機能を使えるようにする

インターナビを使う前に通信機能の設定や携帯電話の接続を行います。

お客様

インターナビ・プレミアムクラブ
入会登録申込書の記入

▼

Honda 販売店

申込書をもとにオンライン登録
（車台番号を本機に登録）

▼

インターナビ情報センター

登録完了のご案内（暗証番号）、
使い方ブックを郵送

▼

お客様

携帯電話の接続
- 接続ケーブルで携帯電話を接続する *(本ページ)*
- データ通信 USB で接続する *(P81)*
- Bluetooth で携帯電話を接続する *(P81)*

▼

Honda インターナビシステムへの
通信設定、暗証番号入力 *(P83)*

パーソナル・
ホームページへの接続

サービスをご利用いただけます。

簡単操作 標準操作

接続ケーブルで携帯電話を接続する

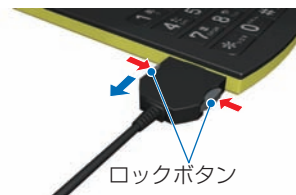
別売の接続ケーブルを使って携帯電話を本機に接続します。

お願い
- 携帯電話から接続ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。
  故障の原因となります。
- 接続ケーブルは携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。

携帯電話を接続する

1 携帯電話の接続端子カバーを外し、接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む

携帯電話を外す

1 左右のロックボタンを押しながら接続ケーブルを取り外す

簡単操作 標準操作

データ通信 USB で接続する

別売の USB 接続ケーブルを使ってウィルコム インターナビ・データ通信 USB を本機に接続します。

データ通信 USB を接続する

1 USB 接続ケーブルにウィルコム インターナビ・データ通信 USB を差し込む ＊2

データ通信 USB を外す

1 USB 接続ケーブルとウィルコム インターナビ・データ通信 USB のコネクター部を持って取り外す

簡単操作 標準操作

Bluetooth で 携帯電話を接続する

お手持ちの携帯電話の Bluetooth*(P77)* 機能を使って Honda インターナビシステムに接続します。

1 簡単操作

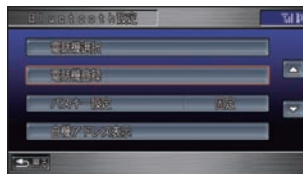
メニュー → 設定を変える にタッチする

標準操作

メニュー → 機能設定 にタッチする

2 通信機能設定 にタッチする

3 Bluetooth 設定 にタッチする

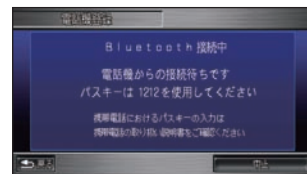
▼

Bluetooth 設定画面を表示します。
この後、*「携帯電話の登録」（本ページ）*を行ってください。

携帯電話の登録

Bluetooth 対応の携帯電話を Honda インターナビシステムに登録し、無線接続できるように設定します。携帯電話は、最大 5 台まで登録することができます。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」（本ページ）を操作した後に・・・

1 電話機登録 にタッチする

2 画面に表示されたパスキーを お手持ちの携帯電話に設定する

お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧になり、携帯電話にパスキーを設定してください。

▼

携帯電話の登録および Bluetooth 接続が完了します。

お知らせ

この操作は最初の 1 回だけです。以降は登録した Bluetooth 携帯電話を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。

登録した携帯電話を選択する

Honda インターナビシステムに Bluetooth 対応の携帯電話を複数登録している場合は、使用する携帯電話を選ぶ必要があります。
登録している Bluetooth 対応の携帯電話が 1 台のときは、この操作は必要ありません。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P81)
を操作した後に・・・

1 **電話機選択** にタッチする

2 **使用する携帯電話**にタッチする

接続中の携帯電話名称の前には マークが表示されています。

3 **決定** にタッチする

▼

接続する携帯電話の選択が完了します。
Bluetooth 接続が完了するまで時間がかかることがありますのでしばらくお待ちください。

登録した携帯電話を消去する

Honda インターナビシステムに登録した携帯電話を消去します。使用中の携帯電話は消去できません。
また、登録されている携帯電話が 1 台だけだった場合、「通信機能設定」の「電話機の接続」を [ケーブル] にすることで消去できます。
→「接続方法の切り換え」(本ページ)

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P81)
を操作した後に・・・

1 **電話機選択** にタッチする

2 **消去したい携帯電話**にタッチする

3 **消去** にタッチする

▼

選択した携帯電話の消去が完了します。

接続方法の切り換え

携帯電話の Honda インターナビシステムへの接続方法をケーブル接続 (有線接続) か Bluetooth 接続 (無線接続) に切り換えます。
Bluetooth 対応携帯電話からケーブル接続の携帯電話に切り換えるときに、以下の操作を行ってください。

1 **メニュー** → **機能設定** → **通信機能設定** にタッチする

▼

通信機能設定画面が表示されます。

2 **電話機の接続** にタッチする

3 **ケーブル** または **Bluetooth** にタッチする

▼

接続方法の切り換えが完了します。

K

インターナビの通信サービスを使う 通信

接続先を選ぶ

通信機能をご利用になるには、会員登録の手続き完了後にインターナビ情報センターから発行される暗証番号を登録するなどの通信機能の設定を行う必要があります。
接続先の設定は、使用する携帯電話に応じた接続先を選ぶだけで簡単に行うことができます。

1

簡単操作

メニュー → 設定を変える →
通信機能設定 にタッチする

標準操作

メニュー → 機能設定 →
通信機能設定 にタッチする

2 通信設定 にタッチする

3 かんたん通信設定 にタッチする

4 スタート にタッチする

5 インターナビ情報センターから発行された**暗証番号**を入力して
完了 にタッチする

ここで必要になる暗証番号は会員登録後、インターナビ情報センターから郵送されてくる「登録完了のご案内」に記載されています。

6 **接続先**にタッチする

7 接続する にタッチする

はじめて通信設定を行ったときは、設定完了後にパーソナル・ホームページとの同期が行われます。同期完了後「接続設定が完了しました」と表示します。

お知らせ

携帯電話会社によっては別途利用料が請求される場合があります。

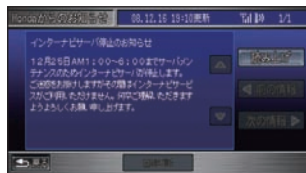
簡単操作 標準操作

Honda からのお知らせを確認する

新しい地図データや製品に関する重要な情報などを Honda からお知らせします。

Honda からのお知らせがあると・・・

▼

1 詳細情報 にタッチする

詳細な情報を表示します。
お知らせ内容が複数ある場合、[詳細情報]にタッチしたあと、表示する詳細情報を選ぶ画面を表示します。

履歴を確認する

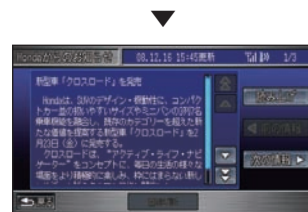
Honda からのお知らせはあとで確認することができます。最大で 20 件まで履歴として残っています。

1 メニュー → internavi 情報 にタッチする

2 Honda からのお知らせ にタッチする

3 確認したい情報 にタッチする

未確認の情報には ✉ マークが表示されています。

▼

選んだ情報の詳細な内容を表示します。

K インターナビの通信サービスを使う 通信

簡単操作 標準操作

気象情報を確認する

気象情報を取得して、画面に表示させることができます。

気象情報

気象情報は、目的地または任意の地点の気象情報を見るための操作を行ったときや目的地を設定して最初のルート計算を行うときなどに取得できます。

受信時の天気
3 時間後の天気予報

気象情報を確認するには

目的地や任意の地点の気象情報を見ることができます。

1 メニュー → internavi 情報 にタッチする

2 internavi ウェザー にタッチする

3 確認したい項目にタッチする

[目的地方面の天気情報を取得] または [現在地周辺の天気情報を取得] を選んだ場合は、気象情報をすぐに取得します。
[地図から選択して天気情報を取得] を選んだ場合は、手順 4 へ進みます。
[取得した天気情報を表示] を選んだ場合は、取得済みの天気情報の履歴を確認できます。

4 気象情報が知りたい地点に ⌖ を合わせて 受信開始 にタッチする

▼

気象情報を取得します。

internavi ダイレクトから接続する

カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) から、インターナビ情報センターに接続し、よく使うインターナビ情報をすばやく呼び出すことができます。

1 現在地画面で ▣ にタッチする

2 internavi ダイレクト にタッチする

▼

internavi ダイレクトのメニューを画面右側に表示します。
このメニューから [internavi VICS 接続] (P154) や [internavi ウェザー](本ページ)、[駐車場セレクト](P64) を選ぶことでインターナビ情報センターに接続し各情報を取得することができます。
インターナビ情報センターに接続すると、[internavi ダイレクト] のタッチスイッチは [回線切断] に変わります。

K

インターナビの通信サービスを使う

簡単操作 標準操作

新しい道路データを取得する

インターナビ情報センターに新しい道路のデータがあれば取得することができます。

ルート周辺に新しい道路があったときには

ルート計算時に、ルート周辺に新しい道路の情報が配信されているときには、その道路のデータを取得し、地図データを更新することができます。(新規道路データ配信)

詳しくは *「新しい道路の情報があったとき」(P73)* を参照してください。

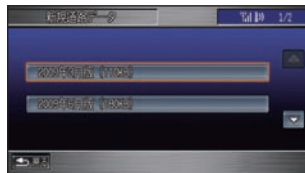
一覧から新しい道路のデータを取得するには

配信されている道路のデータを一覧から選んで取得することができます。
ただし、全国道路データとの不整合を防ぐために、以前に配信されたデータも同時に取得します。

1 メニュー → internavi 情報 にタッチする

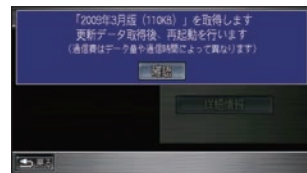
2 新規道路データ にタッチする

新しい道路データがない場合は、[新規道路データ] のタッチスイッチは表示されません。

3 **更新したいデータ**にタッチする

4 データ取得 にタッチする

[詳細情報] にタッチすると、あらかじめ追加される道路の情報を確認できます。

5 確認 にタッチする

▼

データを更新するための認証が行われます。認証後、新しい道路データのダウンロードが行われます。

▼

ダウンロード完了後、システムの再起動が必要となります。

6 再起動する にタッチする

▼

再起動後、新しい道路のデータの取得が完了します。

ディスクの取り扱いについて

Honda インターナビシステムはオーディオ機器としてもお楽しみいただけます。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- ハート型などの異型のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面 (虹色に光っている面) を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。
- CD シングル (8cmCD) はアダプターを付けないで挿入します。アダプターは使用しないでください。

保管上のご注意

- ディスクは、インストルメントパネル上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ディスクがそらないように必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなることがあります。)
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。(結露 (→ P179))
このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

ディスクの操作について

- DVDビデオでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。このような場合、画面に「禁止マーク」を表示します。(ディスクによっては、表示されないこともあります。)

禁止マーク

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的に内部に引き込まれます。

お願い
ディスク挿入口から内部にジュースや水などが入ると故障の原因となります。

CD-R/RWに関して

- Mixed Mode CDやCD-Extraなどの音楽/データ混在ディスクの場合は、音楽CDとして再生できないことがあります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク(追記可能なディスク)は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト販売元にお問い合わせください。)
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD(Double Density CD)形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生		最大再生時間
DVDビデオ	12cm/ 片面	1 層	133 分
		2 層	242 分
	12cm/ 両面	1 層	266 分
		2 層	484 分 (MPEG2 方式)
	8cm/ 片面	1 層	41 分
		2 層	75 分
	8cm/ 両面	1 層	82 分
		2 層	150 分 (MPEG2 方式)
CD	12cm/ 片面		74 分
	8cm/ 片面		20 分
CD-R	12cm/ 片面		―――
CD-RW	12cm/ 片面		―――

お願い

DTS CD(5.1ch Music Disc) は、録音 / 再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

DVD ビデオに関して

- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- CPRM には対応していません。
- VR モードで記録された DVD ビデオは再生できません。
- DVD-R/RW に記録された MP3/WMA は再生できません。

DVD ビデオに表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声言語の数
2	字幕言語の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率) の種別
2 ALL	再生可能な地域を限定する番号。本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

簡単操作 標準操作

ディスクを入れる / 取り出す

本機に音楽 CD、CD-R/RW、DVD ビデオなどのディスクを挿入する方法を説明します。

ディスクを入れるには

1 ▲ を押し、パネルを開ける

Honda インターナビシステム起動後に行います。
エンジンスイッチが“0”のときは操作できません。

2 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む

▼

自動的にパネルが閉まり、再生が始まります。

再生を止めるには

1 ⏻ AUDIO を押す

▼

再生が停止します。

ディスクを取り出すには

1 ▲ を押す

▼

パネルが開き自動的にディスクを排出します。ディスクを抜いてください。
ディスクを抜かず、しばらくするとディスクが自動で挿入され、パネルが閉まります。

2 ▲ を押す

▼

パネルが閉まります。

⚠ 注意

- CD や DVD ビデオのディスクを出したあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。
- パネルの収納時に手や指が挟まれないようにご注意ください。

簡単操作 標準操作

オーディオ・テレビの基本操作

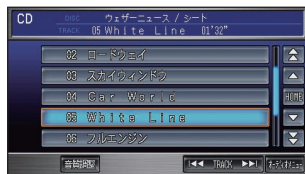
全てのメディアに対応した共通の操作を説明しています。

お願い

- 車外の音がきこえる程度の音量でお使いください。車外の音がきこえない状態では、安全運転のさまたげになります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 本機は、専用のパワーアンプを装着しています。アンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- テレビや DVD ビデオは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。

ナビゲーション画面からオーディオ画面に切り換えるには

1 AUDIO を押す

ナビゲーション画面

オーディオ画面

オーディオ機能が ON になり、最後に操作していたメディアに切り換わります。
ボタンを押すたびに、オーディオ画面とナビゲーション画面が切り換わります。

別のメディアに切り換えるには

1 SOURCE を押す

2 切り換えたいメディアにタッチする

▼

タッチしたメディアに切り換わります。

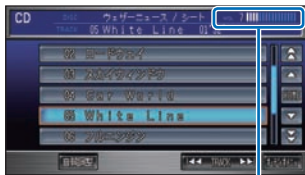
メディアとは !?

本書では、CD、ラジオ、テレビ、HDD サウンドコンテナなどの視聴覚情報のことを総称して「メディア」と表現し説明しています。

音量を調節するには

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に VOL の ▲ または ▼ を押して調節する

▲	音量を大きくするとき
▼	音量を小さくするとき

音量を表示します。

オーディオ機能を終了するには

1 ⏻ AUDIO を押す

▼

すべてのオーディオ機能が終了します。

簡単操作 標準操作

交通情報をきく

交通情報のききかたについて説明します。

交通情報をきくには

1 SOURCE → 交通情報 にタッチする

2 **受信したい周波数**にタッチする

▼

選んだ周波数の交通情報を受信します。

交通情報の操作画面の見かた

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名および周波数を表示します。

② 1620 , 1629
1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときにタッチします。

③ 音質調整
4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。
(車速連動音量)
→「音質を調節するには」(P171)

簡単操作 標準操作

ラジオをきく

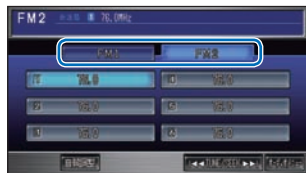
AM や FM ラジオのききかたについて説明します。

ラジオをきくには

1 SOURCE → FM または AM にタッチする

AM の場合は手順 3 へ進みます。

2 FM の場合

FM1 または FM2 にタッチする

3 ⏮ TUNE/SEEK ⏭ にタッチして選局する

▼

選局した周波数の音声が流れます。

ラジオの操作画面の見かた

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名および周波数、放送局名を表示します。

② FM1 , FM2
FM の場合のみ表示します。
[FM1],[FM2] には各 6 局までお気に入りの放送局を記憶させることができます。

③ **プリセットスイッチ**
お好みの放送局をあらかじめ記憶することができます。希望のプリセット番号を長押しすると、現在受信中の放送局を記憶することができます。

④ 音質調整
4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。
(車速連動音量)
→「音質を調節するには」(P171)

⑤ ⏮ TUNE/SEEK ⏭
周波数を変えるときに使用します。「ピッ!」となるまでタッチし続けると自動選局を開始します。

⑥ オーディオメニュー
タッチするとオーディオメニュー(次ページ参照)を表示します。
「エリア選局」、「SCAN」、「AUTO SELECT」が選べます。

オーディオ・テレビ
L

ラジオのオーディオメニュー画面の見かた

① エリア選局

自車位置の移動にともない、その地域の放送局を自動的にプリセットスイッチにリストアップします。
再度、[エリア選局] にタッチすると元の状態に戻ります。

② SCAN

現在地周辺の地域で受信できる放送局を探します。受信できた放送局は 10 秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。ききたい放送局が受信できたら [実行] ボタンを押します。

③ AUTO SELECT

現在地周辺の地域で受信できる放送局を、自動的にプリセットスイッチに記憶します。選局された放送局にタッチし、他のプリセットスイッチを長押しすることでそのプリセットスイッチに現在受信中の放送局を記憶し直すこともできます。
再度、「AUTO SELECT」にタッチすると元の状態に戻ります。

簡単操作 標準操作

音楽 CD をきく

音楽 CD のききかたについて説明します。

音楽 CD をきくには

1 CD が未挿入のとき・・・

▲ → CD を入れる

CD を挿入しているとき・・・

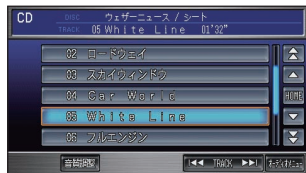
SOURCE → CD にタッチする

▼

自動的に再生が始まります。

工場出荷時の設定であれば、HDD サウンドコンテナへ録音を開始します。

→「録音する」(P109)

2 リストスイッチからききたい曲を選びタッチする

音楽 CD の操作画面の見かた

① **ソースプレート**

現在選ばれているメディア名および再生中のディスク名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。

② **リストスイッチ**

タッチした曲を再生します。

③ 音質調整

4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。
(車速連動音量)

→「音質を調節するには」(P171)

④ ⏮ TRACK ⏭

曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しします。

⑤ オーディオメニュー

タッチするとオーディオメニュー (次ページ参照) を表示します。
「REPEAT」、「SCAN」、「RANDOM」、「録音設定」、「録音開始 (録音停止)」が選べます。

⑥ HOME

再生中の曲のリスト表示に戻ります。

オーディオ・テレビ

L

音楽 CD のオーディオメニュー画面の見かた

① REPEAT
再生中の曲を繰り返して再生します。
(リピート再生)

② SCAN
ディスク内のすべての曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
(スキャン再生)
ききたい曲を探すときに便利です。

③ 録音設定
HDD サウンドコンテナへの録音方法を設定できます。
→「HDD サウンドコンテナへの録音方法を設定するには」(P172)

④ RANDOM
ディスク内の曲を順不同にて再生します。(ランダム再生)

⑤ 録音開始 , 録音停止
手動録音モード (P109) 時に録音開始します。また、録音中であれば、録音を停止します。

お知らせ

- ディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに時間がかかります。
- 走行中はリストスイッチに曲名は表示されません。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示します。
- 録音先は内蔵の HDD のみで、USB メモリーなどに録音することはできません。
- HDD サウンドコンテナに録音中の曲はトラックタイトルリストのトラック No. の左に Ⓡ が表示され、未録音の曲は Ⓡ を表示します。
- 録音中の場合は、HDD サウンドコンテナに録音されたデータで再生します。録音が終了すると自動的に CD の再生になります。
- 曲間にブランク (無音部分) がない CD を HDD サウンドコンテナで再生すると曲間が無音で再生されますが故障ではありません。

簡単操作 標準操作

MP3/WMA ディスクをきく

CD-R/RW などに記録された MP3/WMA ファイルのききかたについて説明します。

MP3/WMA ディスクをきくには

1 ディスクが未挿入のとき・・・

 →ディスクを入れる

ディスクを挿入しているとき・・・

SOURCE → CD にタッチする

▼

自動的に再生が始まります。

2 フォルダの階層およびリストスイッチからききたい曲を選びタッチする

MP3/WMA ディスクの操作画面の見かた

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名 / 圧縮方式および再生中のディスク名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。

② **フォルダの階層**
CD 内のフォルダの位置を示します。
(画面は 2 階層目を展開した状態)

③ **リストスイッチ**
ファイル名またはフォルダ名を表示します。タッチした曲の再生やタッチしたフォルダ内のリストを表示します。

④ **音質調整**
4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。
(車速連動音量)
→「音質を調節するには」(P171)

⑤ **◀ FOLDER ▶**
前後のフォルダの最初の曲を再生します。

⑥ **⏮ TRACK ⏭**
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しします。

⑦ **オーディオメニュー**
タッチするとオーディオメニュー *(次ページ参照)* を表示します。
「REPEAT」、「SCAN」、「RANDOM」が選べます。

⑧ **HOME**
再生中の曲のリスト表示に戻ります。

MP3/WMA ディスクのオーディオメニュー画面の見かた

① REPEAT

再生中の曲やフォルダ内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)
タッチするたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

② SCAN

曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲かディスク内の全フォルダの先頭曲かを選ぶことができます。ききたい曲を探すときに便利です。
タッチするたびに、[SCAN] → [FOLDER-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

③ RANDOM

順不同にて再生します。(ランダム再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲かディスク内のすべての曲かを選ぶことができます。
タッチするたびに、[RANDOM] → [FOLDER-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

お知らせ

- 本書は主に MP3(P182) の再生での説明を記載しておりますが、WMA(P182) の再生についても同様の操作方法となります。
- 走行中はリストスイッチにフォルダ名またはファイル名は表示されません。
- CD-RW ディスクはディスクを挿入してから再生がはじまるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、MP3 または WMA のフォルダ名、ファイル名をリスト上部に表示します。その時、アーティストは表示されません。
- 再生できない MP3 ファイルまたは WMA ファイルだけのフォルダもリスト表示します。MP3 ファイルまたは WMA ファイルを含まないフォルダ (サブフォルダも含む) は表示されません。

簡単操作 標準操作 Honda 純正の CD チェンジャー装備車

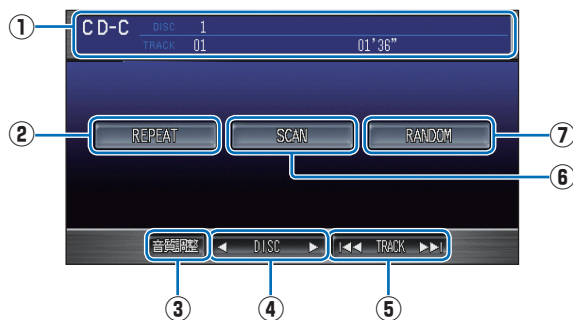
CD チェンジャーで再生する

CD チェンジャーのききかたについて説明します。

CD チェンジャーできくには

1 SOURCE → CD-C にタッチする

2 ◀ DISC ▶ または |◀◀ TRACK ▶▶| にタッチして、ききたい曲を選ぶ

CD チェンジャーの操作画面の見かた

① **ソースプレート**(曲名は表示できません。)
現在選ばれているメディア名および再生中のディスク No、トラック No、曲の経過時間を表示します。

② REPEAT
再生中の曲やディスク内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)
タッチするたびに、[REPEAT] → [DISC-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

③ 音質調整
4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。
(車速連動音量)
→「音質を調節するには」(P171)

④ ◀ DISC ▶
前後のディスクを選びます。

⑤ |◀◀ TRACK ▶▶|
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しします。

⑥ SCAN
曲の始め部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生) ききたい曲を探すときに便利です。タッチするたびに、[SCAN] → [DISC-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

⑦ RANDOM
順不同にて再生します。(ランダム再生)
タッチするたびに、[RANDOM] → [DISC-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

簡単操作 標準操作

テレビを見る

テレビ（ワンセグ）の見かたについて説明します。

お願い

- テレビは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

テレビの受信について

テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサイン、ラジオ放送、アマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔などの近くでは画像が乱れたり音が途切れることがあります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

ワンセグとは !?

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルテレビ放送のことです。
別名「1seg」「1 セグメント放送」「1 セグ放送」で、地上デジタル放送の 1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから、「1 セグ=ワンセグ」と呼ばれています。
ワンセグは放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

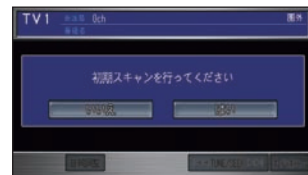
ハイビジョン放送 (HDTV) の地上デジタルテレビ放送は 12 セグメント使用されています。

テレビを見るには

はじめてテレビを見るとき

本機ではじめてテレビを見るときは、最初に「初期スキャン」を行う必要があります。
現在地周辺の地域で受信できるワンセグテレビ放送のチャンネルを調べてプリセットスイッチに記憶する操作です。

1. SOURCE → TV にタッチする

▼

初期スキャンを促す画面を表示します。

2. はい にタッチする

初期スキャンを開始します。

▼

初期スキャン完了後、現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的に TV1、TV2 それぞれ 6 局まで“3 桁チャンネル番号”の数字の小さい順で、プリセットスイッチに記憶します。

放送局を選ぶには

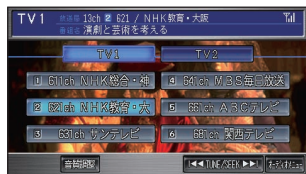
「初期スキャン」で記憶した放送局を選びます。

1 SOURCE → TV
にタッチする

2 **画面**のいずれかにタッチする
テレビの操作画面を表示します。

3 TV1 または TV2 にタッチする

4 **見たい放送局**にタッチする

▼

選ばれた放送局は色が変わり、ソースプレートにも表示します。

テレビの操作画面の見かた

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名および放送中の物理チャンネル番号、プリセット番号、３桁チャンネル番号、放送局名、番組名を表示します。

② TV1 TV2
「TV1」、「TV2」のプリセットスイッチを表示します。

③ **プリセットスイッチ**
お好みの放送局をあらかじめ記憶することができます。希望のプリセット番号を長押しすると、現在受信中の放送局を記憶することができます。

④ **音質調整**
４つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。(車速連動音量)
→「音質を調節するには」(P171)

⑤ **|◀◀ TUNE/SEEK ▶▶|**
周波数を変えるときに使用します。
「ピッ！」と鳴るまでタッチし続けると自動選局を開始します。

⑥ **オーディオメニュー**
タッチするとオーディオメニュー(次ページ参照)を表示します。
「SCAN」、「AUTO SELECT」、「音声切換」、「番組表」、「サービス切換」、「表示サイズ切換」、「初期スキャン」が選べます。

本書で記載するテレビの映像および番組名は、説明用に作成した架空のものです。
実際にある放送局とは一切関係ありません。

テレビのオーディオメニュー画面の見かた

① **AUTO SELECT**

現在地周辺の地域で受信できる放送局を、自動的にプリセットスイッチに記憶します。選局された放送局にタッチし、他のプリセットスイッチを長押しすることでそのプリセットスイッチに現在受信中の放送局を記憶し直すこともできます。
再度、「AUTO SELECT」にタッチすると元の状態に戻ります。

② **SCAN**

現在地で受信できる放送局を探します。受信できた放送局は 10 秒間だけ放送を流します。見たい放送局が受信できたら [実行] ボタンを押します。

③ **番組表**

電子番組表 (EPG) を表示します。

④ **サービス切換**

マルチ編成の番組を切り換えることができます。放送中の番組がマルチ編成だった場合、画面右上に ▣ を表示します。

⑤ **初期スキャン**

長期的に滞在する地域での放送局を記憶するためにあります。
現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶します。

⑥ **表示サイズ切換**

タッチするたびに映像の表示サイズが「中」→「拡大」の 2 段階で切り換わります。

⑦ **音声切換**

二ヶ国語放送や複数の音声がある番組で主音声、副音声を切り換えます。
(主音声 + 副音声に切り換えることはできません。)

EPG とは !?

Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

リモコン番号とは !?

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。

物理チャンネル番号とは !?

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) のことを言います。

マルチ編成とは !?

1 つのチャンネルで複数の番組を放送できるサービスです。

3 桁チャンネル番号とは !?

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。

例) リモコン番号が“5”のとき
ワンセグでは 600 番台から始まり、
1 つ目の番組は「651」、
2 つ目の番組は「652」、
3 つ目の番組は「653」となります。

リモコン番号が“10”のとき
「701」、「702」、「703」となります。

二ヶ国語放送とは !?

ひとつのチャンネルで同時に「主音声」と「副音声」に分けた 2 種類の音声を放送しているものを言います。
例) 主音声=日本語、副音声=英語

簡単操作 標準操作

DVD ビデオを再生する

DVD ビデオの見かたについて説明します。

お願い

- DVD ビデオは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

DVD ビデオを見るには

1

DVD ビデオが未挿入のとき・・・

▲ → DVD ビデオを入れる

DVD ビデオを挿入しているとき・・・

SOURCE → DVD にタッチする

▼

自動的に再生が始まります。

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 **画面**のいずれかにタッチする

▼

操作画面を表示します。

DVD ビデオの操作画面（再生中）の見かた

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名およびタイトル No、チャプター No、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

▶	再生中
II	一時停止中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中
I▶	スロー再生中

② サーチ
番号を入力することでタイトルやチャプターを指定することができます。

③ 音声
タッチするたびに音声の言語を切り換えます。

④ 字幕
タッチするたびに字幕の言語を切り換えます。

⑤ アングル
マルチアングルに対応していれば、タッチするたびに場面や視点を変えた映像に切り換えます。

⑥ 数字入力
DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

⑦ 音質調整 （→ P171）
４つの基本的な音質が調節できます。また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。（車速連動音量）

⑧ ◀ TITLE ▶
前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑨ I◀◀ CHAPTER ▶▶I
前後のチャプターを選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しができます。

⑩ メニュー
ディスクに記録されているメニューを表示します。

⑪ リターン
あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。（リターン再生）

⑫ スロー
タッチするたびに再生速度が 1/2 → 1/8 → 1/32 → 1/2・・・と再生速度が変わります。（スロー再生）

⑬ 停止
再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。（次ページ参照）

⑭ 一時停止
映像を表示した状態で停止します。

⑮ 再生
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

DVD ビデオの操作画面 (停止中) の見かた

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。

① 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。

② タイトルサーチ

タイトルを番号入力で指定することができます。(チャプターは再生時のメニューでのみできます。)

③ トップメニュー

ディスクに記録されているトップメニューを表示します。

④ 停止

再生中から停止にしたとき（状態アイコン ▶ が点滅状態）は続き再生 (レジューム再生) ができます。
再度 [停止] にタッチすると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

⑤ 再生

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生ができます。
状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

⑥ **状態アイコン**

▶ (点滅)	停止中 (続き再生可能)
■	停止中 (続き再生不可)

オーディオ・テレビ
L

HDD サウンドコンテナとは

P109

HDD に録音

CD を録音します。
ハードディスクを搭載しており、
お気に入りの CD を録音できます。

よくきいた曲ベスト

よくきく曲は自動で登録します。
普段からよくきいている曲は HDD サウンドコンテナが自動で 1 ヶ所に登録してくれます。

お気に入りの曲を集める

お気に入りの曲がその場で簡単登録。
好みの曲が再生されれば、その場で簡単に登録できます。

曲を検索

検索機能も充実。
録音した曲名やアーティスト名などを利用して曲がすぐに見つかります。

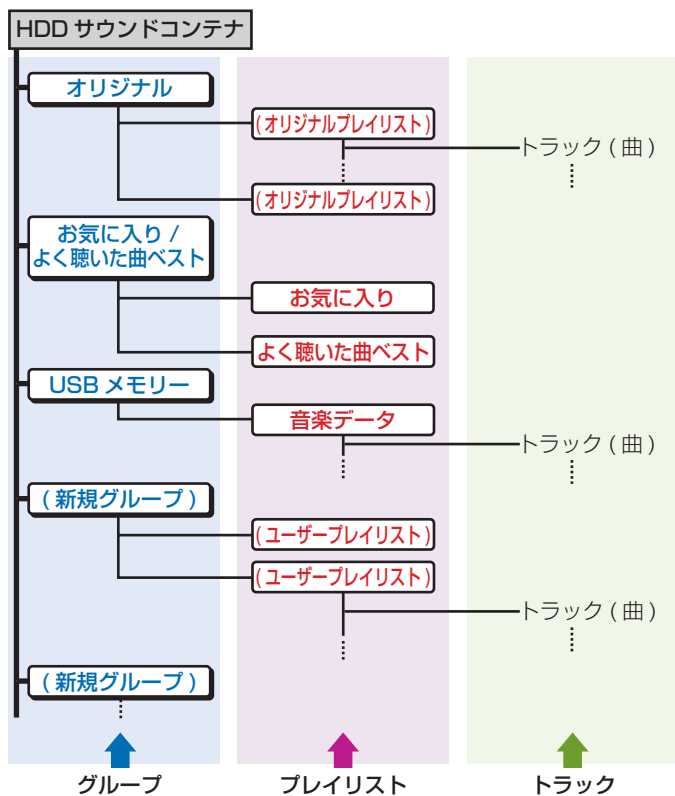
HDD サウンドコンテナ

音楽CDをHondaインターナビシステムのハードディスク(HDD)に録音して、再生する機能です。

M

グループとプレイリストについて

グループとプレイリストの役割・関係について説明します。

HDD サウンドコンテナの階層イメージ

オリジナルプレイリストとは

CD から録音した曲が収録されている場所です。

ユーザープレイリストとは

お客様ご自身がオリジナルプレイリストの曲を利用して、お好みの曲や再生順を登録した場所です。

プレイリストとは

オリジナルプレイリストとユーザープレイリストを含めた総称で、複数の曲を収録することができる場所です。

グループとは

複数のプレイリストを収録することができる場所です。

グループの種類

オリジナル	オリジナルプレイリストのみが収録される場所。グループの名称変更や削除はできません。オリジナルプレイリストを最大 9999 個まで収録できます。
お気に入り / よく聴いた曲ベスト	「お気に入り」「よく聴いた曲ベスト」のプレイリストのみが収録された場所。
USB メモリー	USB メモリー内の曲を表示させる場所で、[音楽データ] のプレイリストが収録されています。グループの名称変更や削除はできません。
(新規グループ)	お客様が作成したユーザープレイリストのみを収録する場所。1 つのグループ内に最大 999 個のユーザープレイリストを収録できます。グループの名称変更や削除ができます。

簡単操作 標準操作

録音する

録音方法について説明します。

音楽 CD を挿入して録音する

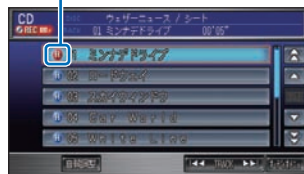
曲やアルバムを探す

きく (P110)

CD の曲をすべて録音する

工場出荷時の設定では、CD を再生すると、すべての曲を自動的に HDD サウンドコンテナに 4 倍速で録音します。
すでに録音済みの曲は、同じ CD から重複して録音できません。

1 ⏏ → CD を入れる

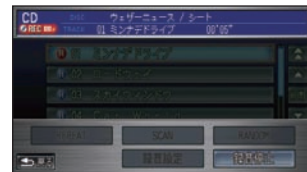
録音中の表示 (赤色)

CD の録音が始まります。

すべての曲の録音が終了すると REC が消えます。

録音を停止するとき

途中で録音を停止することができます。

CD の操作画面で・・・

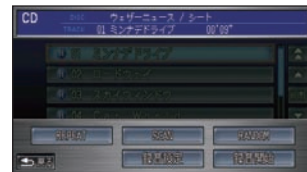
1 オーディオメニュー → 録音停止 にタッチする

録音が停止します。

録音を開始するとき

再生中の曲から録音を開始することができます。

CD の操作画面で・・・

1 オーディオメニュー → 録音開始 にタッチする

簡単操作 標準操作

HDD サウンドコンテナできく

登録されている曲を再生します。

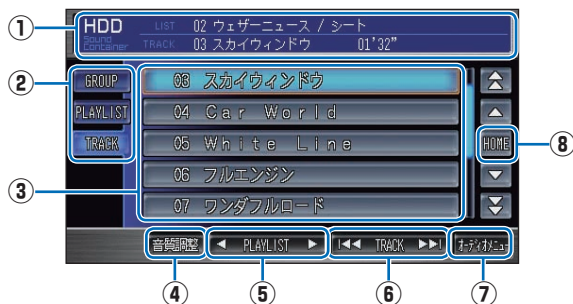
HDD サウンドコンテナできくには

1 SOURCE → HDD Sound Container
にタッチする

▼

自動的に再生が始まります。

2 HDD サウンドコンテナの階層およびリストスイッチからききたい曲を選びタッチする

HDD サウンドコンテナの操作画面の見かた

① **ソースプレート**

現在選ばれているメディア名および再生中のプレイリスト名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。

② **HDD サウンドコンテナの階層**

グループ→プレイリスト→トラックの階層でリストスイッチを切り換え、曲を探すことができます。

③ **リストスイッチ**

タッチした曲の再生や各階層のリスト表示を行います。

④ 音質調整

4 つの基本的な音質が調節できます。また、車の速度に応じて音量を変える設定が選択できます。(車速連動音量)

→ *「音質を調節するには」(P171)*

⑤ ◀ PLAYLIST ▶

前後のプレイリストの最初の曲を再生します。

⑥ |◀◀ TRACK ▶▶|

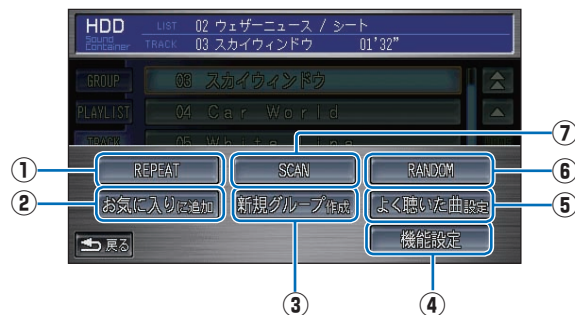
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しします。

⑦ オーディオメニュー

タッチするとオーディオメニュー *(次ページ参照)* を表示します。「REPEAT」、「SCAN」、「RANDOM」、「お気に入りに追加」、「新規グループ作成」、「よく聴いた曲設定」、「機能設定」が選べます。

⑧ HOME

再生中の曲のリスト表示に戻ります。

HDD サウンドコンテナのオーディオメニュー画面の見かた

① REPEAT

再生中の曲やプレイリスト内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)
タッチするたびに、[REPEAT] → [PLAYLIST-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

② お気に入りに追加

再生中の曲を「お気に入り」プレイリストに登録します。

③ 新規グループ作成

あらたにグループを追加します。

④ 機能設定

タッチすると機能設定メニュー*(次ページ参照)*を表示します。
「検索」、「タイトル編集」、「No Title リスト」、「新規プレイリスト作成」、「消去」、「プレイリスト編集」、「サウンドコンテナの全消去」が選べます。

⑤ よく聴いた曲設定

「よく聴いた曲ベスト」を作成するための検索期間の設定や再生履歴の消去が行えます。

⑥ RANDOM

再生中のプレイリスト内にあるすべての曲もしくは、録音されたすべての曲を順不同にて再生します。(ランダム再生)
タッチするたびに、[RANDOM] → [PLAYLIST-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

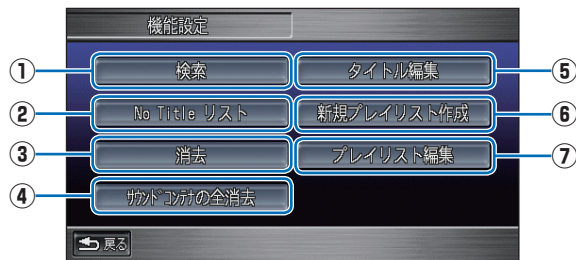
⑦ SCAN

曲の始め部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生) 再生中のプレイリスト内にあるすべての曲か、再生中のグループ内にある全プレイリストの先頭曲かを選ぶことができます。ききたい曲を探すときに便利です。タッチするたびに、[SCAN] → [PLAYLIST-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

お知らせ

- 走行中はリストスイッチにタイトルは表示されません。

機能設定メニュー画面の見かた

[オーディオメニュー] → [機能設定] で表示する機能設定メニューについて説明します。

① **検索**

さまざまな条件を指定して曲を探すことができます。

② **No Title リスト**

ここに登録されたプレイリストのタイトル情報を通信機能を使って取得することができます。

→「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P120)

③ **消去**

グループやプレイリスト、曲を選んで消去します。

→「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(P116)

④ **サウンドコンテナの全消去**

HDD サウンドコンテナ内のデータをすべて消去します。

→「HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P117)

⑤ **タイトル編集**

プレイリストやトラック、お客様が作ったグループの名称を編集できます。
また、タイトル情報の再取得を行うことができます。

⑥ **新規プレイリスト作成**

ユーザープレイリストを新しく作ります。

→「新しくプレイリストを作る」(P113)

⑦ **プレイリスト編集**

プレイリストやトラックの再生順を変更したり、選択したプレイリストへトラックを追加することができます。

簡単操作 標準操作

新しくプレイリストを作る

新しくユーザープレイリストを作り、曲を登録していきます。

新しくグループを作る（本ページ）
まず、最初にグループを作っておく必要があります。

▼

新しくプレイリストを作るには（本ページ）
次に、好みの曲を入れる（登録する）場所を作ります。

▼

プレイリストに曲を登録する
以下の２通りの方法で、新しく作ったプレイリストに曲を登録します。

▼

好みの曲を１つずつ選んで登録するとき（P114）

▼

検索機能を使って登録するとき（P114）

新しくグループを作る

ユーザープレイリストを収録するためのグループを新規作成し、グループのリストに追加することができます。
工場出荷時では、ユーザープレイリストを収録できるグループがありません。

1 オーディオメニュー → 新規グループ作成 にタッチする

2 **新規グループのタイトル名**を編集する

あらかじめ日付がグループ名として入力されています。

3 入力完了 にタッチする

▼

新しいグループの作成が完了します。

新しくプレイリストを作るには

新しくユーザープレイリストを作ります。

1 オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする

2 新規プレイリスト作成 にタッチする

3 **収録したいグループ**にタッチする

収録するグループを選ぶには、あらかじめ［オリジナル］、［お気に入り／よく聴いた曲ベスト］以外のグループを作成しておく必要があります。
グループを作成していなかった場合は、自動的に日付名のグループが作成され、手順４に進みます。

4 **新規プレイリストのタイトル**を編集する

あらかじめ日付がユーザープレイリスト名として入力されています。

・・・次ページ手順５へつづく

入力完了 にタッチする

▼

引き続き作成したユーザープレイリストに曲を登録できます。

- [プレイリストから探す] にタッチした場合は、リスト画面から曲を探してユーザープレイリストに登録することができます。→「好みの曲を 1 つずつ選んで登録するとき」(本ページ)
- [条件を指定して探す] にタッチした場合は、さまざまな条件を設定して曲を検索し、検索に該当した曲をユーザープレイリストに登録することができます。→「検索機能を使って登録するとき」(本ページ)

好みの曲を 1 つずつ選んで登録するとき

登録したい曲が収録されているグループやプレイリストから曲を選んで、新しく作成したユーザープレイリストに登録することができます。

「新しくプレイリストを作るには」(P113) の手順 5 まで操作した後に・・・

1 プレイリストから探す にタッチする

2 **登録したい曲**にタッチする

▼

選んだ曲は色を青色に変えて表示します。この操作を繰り返して登録したいすべての曲を選択していきます。

3 決定 にタッチする

4 完了 にタッチする

▼

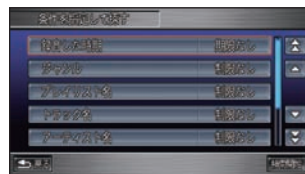
登録が完了します。

検索機能を使って登録するとき

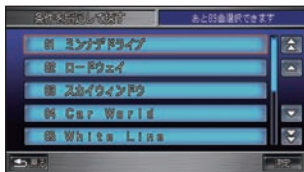
録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名、再生回数、再生した時期の指定を組み合わせて検索し、検索結果の曲すべてを新しく作成したユーザープレイリストに登録することができます。

「新しくプレイリストを作るには」(P113) の手順 5 まで操作した後に・・・

1 条件を指定して探す にタッチする

2 **各項目**にタッチする

3 **設定したい条件**にタッチする

以降、手順 2 ～ 3 を繰り返し、さまざまな条件を指定します。

4 検索開始 にタッチする

検索条件に該当した曲のリストを表示します。

ここで表示したリストの曲をすべて登録します。曲を選んでタッチすると、登録対象から外したり入れたりすることができます。

5 決定 にタッチする

6 完了 にタッチする

登録操作が完了します。

簡単操作 標準操作

グループ、プレイリスト、トラックを消去する

[オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[USB メモリー] のグループは消去できません。

「お気に入り」、「よく聴いた曲ベスト」のプレイリストは消去できません。

[USB メモリー] 内のプレイリストおよびトラックは消去できません。

トラックを消去するときプレイリストの種類によって、消去される内容が異なります。

オリジナルプレイリスト内のトラック	録音した曲を消去します。同時に登録されているユーザープレイリスト内の曲も消去します。
ユーザープレイリスト内のトラック	曲の登録を解除します。オリジナルプレイリスト内にある登録元の曲 (録音した曲) は、そのまま残され消えません。「お気に入り」「よく聴いた曲ベスト」内のトラックも同様です。

1 オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする

2 消去 にタッチする

3 GROUP または PLAYLIST TRACK を選ぶ

4 **消去したいグループ、プレイリストまたはトラック** にタッチする

5 消去する にタッチする

選んだグループ、プレイリストまたはトラックの消去が完了します。

お願い

消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。故障の原因となることがあります。

簡単操作 標準操作

HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する

録音した曲をすべて一括消去することができます。一度全消去すると、元に戻せません。

お願い

- 車を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
- 消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。
  故障の原因となることがあります。

1. オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする
2. サウンドコンテナの全消去 にタッチする
3. 全消去する にタッチする
4. 実行する にタッチする

▼

録音したすべての曲の消去が完了します。

簡単操作 標準操作

タイトル情報を取得する

Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。

音楽 CD を挿入する

内蔵ハードディスクや通信から探す

タイトル情報の取得完了

タイトル情報を取得するには (P119)
手動でタイトル情報を取得し直すことができます。

取得できる情報について

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストの読み
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト
- ジャンル

お知らせ

- CD または曲によっては取得できない情報もあります。
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは通信で探すことができます。
- オリジナルプレイリスト以外は、タイトル情報は取得できません。
- USB メモリー内の音楽データのタイトル情報は取得することができません。

Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

gracenote.

- 本体内蔵の Gracenote データベース、インターネットの Gracenote データベースともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- インターネットの Gracenote データベースはメンテナンス等により予告なく停止することがあります。

会社概要および著作権、使用許諾について詳しくは「Gracenote サービスについて」(P209)を参照してください。

HDDサウンドコンテナ

M

タイトル情報を取得するには

通常、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的に内蔵のハードディスクからタイトル情報の取得を行います。取得したタイトル情報が別のものだった場合やタイトル情報が取得できなかった場合は、通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

音楽 CD 録音後、タイトル情報を取得するには、HDD サウンドコンテナから操作する必要があります。

操作のながれ

まず内蔵ハードディスクのデータベースからタイトル情報を取得します。取得できなかった場合も、続いて通信で取得することができます。

1 オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする

2 タイトル編集 にタッチする

3 **編集したいプレイリスト**または**トラック**にタッチする

3 つづき・・・

▼

編集画面を表示します。
ユーザープレイリストおよびユーザープレイリスト内のトラックの編集画面からはタイトル情報を取得できません。

4 情報取得 にタッチする

▼

ハードディスクから取得できたアルバム名

内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

5 **登録したいタイトル**にタッチする

(アルバム名)	内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得できた場合に表示します。
該当タイトルなし	タイトルは登録されません。プレイリスト編集画面またはトラック編集画面から、好みのタイトルを入力してください。
通信で取得 通信	携帯電話を使って、インターネットの Gracenote データベースから情報を取得します。
No Title リストに登録する 通信	No Title リストに登録され、後で通信機能を使って、まとめてタイトル情報を取得することができます。→「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P120)

▼

選んだタイトルの登録が完了します。

「No Title リスト」の タイトル情報を取得する 通信

「No Title リスト」に登録したプレイリストは通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

1 オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする

2 No Title リスト にタッチする

▼

タイトル情報が取得できなかったプレイリストの一覧 (No Title リスト) を表示します。

3 通信で一括取得 にタッチする

▼

タイトル情報を取得します。

No Title リストから登録を解除するとき

No Title リストに登録されているプレイリストを解除します。

1 オーディオメニュー → 機能設定 にタッチする

2 No Title リスト にタッチする

3 解除したいプレイリスト にタッチする

4 リストから消去 にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

選んだプレイリストを No Title リストの登録から解除します。

USB メモリーで 「No Title リスト」の タイトル情報を取得する

USB メモリーを使ってタイトル情報を取得する場合は、以下の手順で行います。

[No Title リスト] のプレイリスト情報を USB メモリーに保存する (→ P121)

ご自宅のパソコンから パーソナル・ホームページに接続して、USB メモリー内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得する

再び本機に USB メモリーを挿入し、USB メモリーからタイトル情報を一括取得する (→ P121)

USB メモリーに情報を保存する

USB メモリーにタイトル情報が取得できなかったプレイリストの情報を保存します。

「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P120) の手順 2 まで操作した後に・・・

 USB メモリーへ保存 にタッチする

▼

USB メモリーへプレイリストの情報を保存します。

USB メモリーから情報を取得する

あらかじめ USB メモリーにタイトル情報を取得していれば、USB メモリーを使ってタイトル情報を一括で取得することができます。

「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P120) の手順 2 まで操作した後に・・・

 USB メモリーから取得 にタッチする

▼

USB メモリー内のタイトル情報を取得します。

Honda純正のUSB接続ケーブル接続時

USBメモリーを使う

本機に登録した画像やマークリストのバックアップや、保存された音楽ファイルを再生することができます。

N

USB メモリーを使ってできること

USB メモリーを利用すると、Honda インターナビシステムをよりいっそう活用いただけます。

P125

データのバックアップ

Honda インターナビシステムに登録された画像やマークリストを、保存したり読み込むことができます。

P47

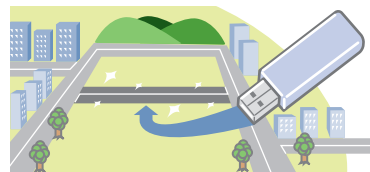
お好みの画像を壁紙に

USB メモリーに保存された画像を壁紙に設定することができます。

P108

音楽ファイルの再生

MP3 ファイルや WMA ファイルの音楽ファイルを HDD サウンドコンテナで再生することができます。

新規道路の更新

USB メモリーを使って、パーソナル・ホームページから新しい道路データを取得し、更新することができます。

簡単操作 標準操作

USB メモリーを接続する

本機に登録した画像やマークリストのバックアップや、保存された音楽ファイルを再生することができます。

お願い

- 読み込みや保存の最中に USB メモリーを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、USB メモリーを途中で抜かないでください。
- USB メモリーは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 車内に放置するなどの要因による破損がありましても、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 画像の設定 (または変更) 操作をした直後は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、USB メモリーのデータが壊れることがあります。

お知らせ

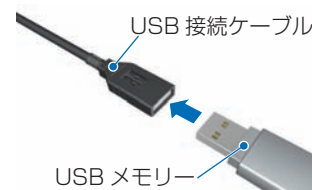
- Honda インターナビシステムでお使いの USB メモリーに Honda インターナビシステム以外のデータを保存するとデータが破損するおそれがあります。USB メモリーは Honda インターナビシステム専用でご使用になることをお勧めします。
- USB 接続ケーブルの場所については、Honda 販売店へご確認ください。
- 別売の接続ケーブルで携帯電話を接続されている場合は、本機能はご利用になれません。

MP3/WMA ファイルについて

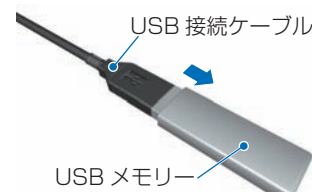
ご自宅のパソコンなどで MP3 ファイルや WMA ファイルを USB メモリーに記録し、ケーブルに接続すると、メディアを「HDD サウンドコンテナ」に切り替えることで再生することができます。
([SOURCE] ボタン→[HDD Sound Container] → [USB メモリー] → [音楽データ] にタッチする)

→「グループとプレイリストについて」(P108)

USB メモリーを接続する

1 USB 接続ケーブルに USB メモリーを差し込む

USB メモリーを外す

1 USB 接続ケーブルと USB メモリーを矢印の方向に抜く

▼

USB メモリーは付属のふたやカバーを取り付けた後、保管してください。

標準操作

USB メモリーの操作

本機から行える USB メモリーの操作について説明します。

USB メモリーはさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや友人とのデータ交換などのように、Honda インターナビシステムをさらに活用するために役立ちます。

詳細情報を確認する

USB メモリーの名称、種別、使用容量、空き容量を確認することができます。

1. メニュー → 付加機能 にタッチする
2. 各種情報 → USB 機器情報 にタッチする

▼

USB メモリーの詳細情報を表示します。

保存情報を確認する

USB メモリーに保存されている情報を確認することができます。

1. メニュー → 付加機能 にタッチする
2. データ編集 → USB メモリー編集 にタッチする
3. USB メモリー にタッチする

▼

USB メモリーのリスト画面を表示します。

お願い

保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

保存情報を編集する

USB メモリー内に保存された各情報を編集することができます。

「保存情報を確認する」(P124) を操作した後に・・・

1 **編集したい項目**にタッチする

2 個別編集 にタッチする

各項目の編集画面を表示します。
以降の操作は、次の表内の参照項目と同様に行ないます。

USB メモリーの編集項目

壁紙	*「壁紙を設定する」(P47)* と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
アドレス帳	*「USB メモリーからアドレス帳を読み込む」(P160)* と同様の操作で、USB メモリーからのデータ読み込み、消去が行えます。
スケジュール	USB メモリーへスケジュールの保存、読み込み、消去を行うことができます。
マークリスト	*「USB メモリーへマークの保存 / 読み込み」(P56)* と同様の操作で、USB メモリーへ保存、読み込み、消去を行うことができます。
ユーザーランドマーク	USB メモリーへユーザーランドマークの保存、読み込み、消去を行うことができます。
回避エリア	USB メモリーへ回避エリアの保存、読み込み、消去を行うことができます。
非表示設定データ	USB メモリーへ非表示設定データの保存、読み込み、消去を行うことができます。

ナビ本体側の情報を確認する

ハードディスク内に保存された各情報を編集することができます。

「保存情報を確認する」(P124) の手順 2 まで操作した後に・・・

1 ナビ本体データ にタッチする

2 **編集したい項目**にタッチする

3 個別編集 にタッチする

各項目の編集画面を表示します。
以降の操作は、次の参照項目と同様に行います。

お願い
保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

ナビ本体側の編集項目

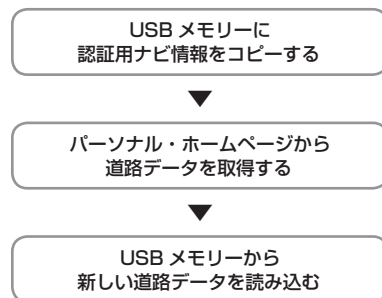
壁紙	壁紙画面が表示され、「壁紙を設定する」(P47) と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
アドレス帳	アドレス帳のリストが表示され、「アドレス帳を使う」(P158) と同様の操作で、新規登録、詳細情報の編集、消去などが行えます。
スケジュール	スケジュールリストが表示され実行、編集、消去が行えます。
マークリスト	マークのリスト画面が表示され、「マークの情報を確認／編集する」(P54) と同様の操作で、目的地セット、マーク情報編集、消去、パーソナル・ホームページとの同期などが行えます。
ユーザーランドマーク	ユーザーランドマークのリストが表示され、新規登録、マーク情報編集、消去などが行えます。
回避エリア	回避エリアのリストが表示され、新規登録、回避エリア情報編集、消去などが行えます。
非表示設定データ	非表示設定データのリストが表示され、非表示にしたランドマークを再び地図上に表示させることができます。

簡単操作 標準操作

USB メモリーから道路データを取得する

USB メモリーを使って、パーソナル・ホームページから新しい道路データを取得することができます。(新規道路データ配信)

USB メモリーを使って新しい道路のデータを取得するには次の手順が必要です。

USB メモリーに認証用ナビ情報をコピーする
▼
パーソナル・ホームページから道路データを取得する
▼
USB メモリーから新しい道路データを読み込む

USB メモリーに認証用ナビ情報をコピーする

パーソナル･ホームページから新しい道路データを取得するために必要な認証用ナビ情報をUSB メモリーにコピーします。

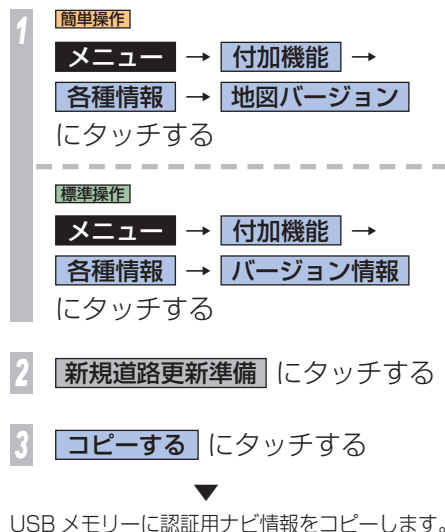
1 簡単操作
メニュー → 付加機能 → 各種情報 → 地図バージョン にタッチする

標準操作
メニュー → 付加機能 → 各種情報 → バージョン情報 にタッチする

2 新規道路更新準備 にタッチする

3 コピーする にタッチする

▼

USB メモリーに認証用ナビ情報をコピーします。

パーソナル・ホームページから道路データを取得する

USB メモリーにコピーした認証用ナビ情報を使って、パーソナル・ホームページから新しい道路データを取得してください。
取得するとき、新しい道路データを USB メモリーに保存します。

USB メモリーから新しい道路データを読み込む

パーソナル・ホームページから取得した新しい道路データを Honda インターナビシステムに読み込みます。

「USB メモリーに認証用ナビ情報をコピーする」(本ページ)の手順 1 まで操作した後に・・・

1 新規道路更新実行 にタッチする

▼

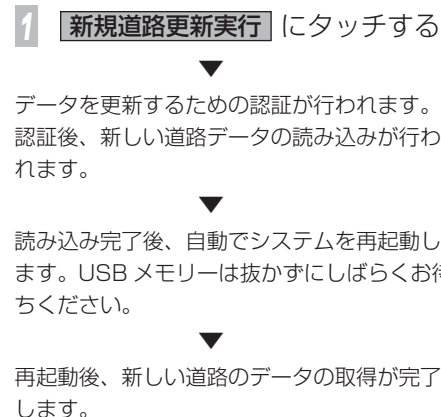
データを更新するための認証が行われます。認証後、新しい道路データの読み込みが行われます。

▼

読み込み完了後、自動でシステムを再起動します。USB メモリーは抜かずにしばらくお待ちください。

▼

再起動後、新しい道路のデータの取得が完了します。

標準操作

USB メモリーを初期化する

USB メモリーを初期化すると、USB メモリー内のデータをすべて消去することができます。

お願い
データを消去すると、復元することはできません。重要なデータでないことを確認してから消去してください。

1. メニュー → 付加機能 にタッチする
2. 各種情報 にタッチする
3. USB 機器情報 にタッチする
4. 初期化する にタッチする
5. 初期化する にタッチする

▼

USB メモリーが初期化されます。

お願い
初期化中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを "0" にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

簡単操作 標準操作

準備

ハンズフリー電話を使う前に携帯電話を接続します。

ハンズフリー電話について

話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声がきこえにくい場合があります。
ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより不自然な音となる場合があります。

お願い

交通量の多い市街地や狭い道での操作は避けてください。

お知らせ

- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話しください。
- 電話機のノイズキャンセラー機能、パワーセーブ機能はなるべく「OFF」に設定しておいてください。
- 通話中は窓を閉めてお話しください。
- 携帯電話の接続ケーブルからは、携帯電話用の電源は供給されていません。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 接続された携帯電話を直接操作して発信すると、携帯電話の機種によっては、ハンズフリー通話にならない場合があります。
- Bluetooth 接続でデータ通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- 携帯電話の対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/

携帯電話を接続する

携帯電話の接続のしかたについては「インターナビの通信サービスを使う」の*「通信機能を使えるようにする」(P80)*を参照してください。

お願い

携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

簡単操作 標準操作

ハンズフリー電話の設定

ハンズフリー電話に関する設定を行います。

電話の設定をする

通話中画面表示や自動着信の設定、通話音量、着信音量の設定方法を説明します。

1 メニュー → 機能設定 → 電話設定 にタッチする

2 設定する項目にタッチする

設定できる項目と設定は次のとおりです。

アドレス帳読み込み	→「携帯電話の電話帳を読み込む」(P132)
アドレス帳追加	→「携帯電話の電話帳を読み込む」(P132)
通話中画面表示	**[する]**、[しない]
自動着信	**[する]**、[しない]
電話着信音量	7 段階 **[4]**
電話通話音量	7 段階 **[4]**

※太字は初期状態を示します。

3 設定を変更する

4 手順 2 ～ 3 を繰り返し、項目を設定する

着信音量 / 通話音量を調節する

スピーカーからきこえてくる相手の声の大きさや着信音の大きさを調節することができます。

「電話の設定をする」(本ページ) の手順 1 まで操作した後に・・・

1 電話着信音量 または 電話通話音量 にタッチする

2 － または ＋ にタッチして音量を設定する

3 決定 にタッチする

音量を設定します。

電話帳

アドレス帳に登録した電話番号を確認したり電話をかけることができます。

携帯電話の電話帳を読み込む

携帯電話に登録されている電話番号のリストをアドレス帳 *(P158)* に読み込むと、電話帳として使用できます。電話番号は、最大1000 件まで登録できます。

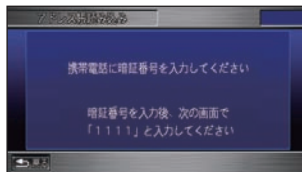
「電話の設定をする」(P131) の手順 1 まで操作した後に・・・

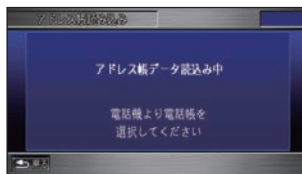
1 アドレス帳読み込み または アドレス帳追加 にタッチする

アドレス帳読み込み	現在のアドレス帳のデータがすべて消去され、携帯電話からデータを読み込みます。
アドレス帳追加	携帯電話からデータを読み込み、現在のアドレス帳のデータに追加されます。[アドレス帳追加] を選んだ場合は、手順 3 に進みます。

2 読み込む にタッチする

3

FOMA を接続した場合

この後は携帯電話側から暗証番号を入力する操作を行ってください。

Bluetooth 接続の場合

この後は携帯電話側から電話帳データを転送する操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

その他の場合

この後は携帯電話側の暗証番号を入力してください。

4 完了 にタッチする

▼

データを転送します。

アドレス帳とは何が違うの？

電話帳は、アドレス帳 *(P158)* に登録された情報を利用して、名前と電話番号のみを抜粋して自動で表示したものです。アドレス帳とは異なり、新規登録することはできません。

※「FOMA」は NTT ドコモの登録商標です。

電話帳を確認する

電話帳を確認することができます。

1 簡単操作

メニュー → 電話をかける にタッチする

標準操作

メニュー → 電話 にタッチする

2 電話帳 にタッチする

電話帳画面を表示します。

電話帳を消去する

電話帳画面から電話帳のデータを消去することはできません。電話帳のデータを消去する場合は、アドレス帳から行います。

→「アドレスを消去する」(P159)

ワンタッチダイヤル

登録する

携帯電話からアドレス帳に電話番号データを読み込むと、メモリー番号の小さい順に５件のデータが、自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。

登録された電話番号データは次の手順で変更できます。

「電話帳を確認する」(本ページ)まで操作した後に・・・

1 **登録したい相手**にタッチする

2 詳細情報 にタッチする

アドレス帳の詳細情報を表示します。

3 **いずれかの登録番号**にタッチする

選んだワンタッチ登録番号に電話番号データを登録します。

簡単操作 標準操作

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話の使いかたを説明します。

電話をかける

1 ハンドルの [オフフック] オフフックスイッチを押す

2 ダイレクト発信 にタッチする

3 **電話番号**を入力する

4 発信 にタッチする

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

5 ハンドルの [オンフック] オンフックスイッチを押して、電話を切る

ワンタッチダイヤルでかける

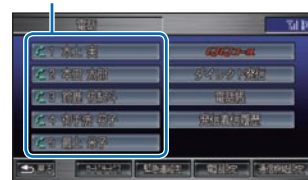
ワンタッチダイヤルは走行中も操作することができます。

1 ハンドルの [オフフック] オフフックスイッチを押す

電話のメニューを表示します。

2 **電話をかける相手**にタッチする

ワンタッチダイヤル

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

3 ハンドルの [オンフック] オンフックスイッチを押して、電話を切る

ハンズフリー電話を使う

電話帳からかける

1 ハンドルの [オフフック] オフフックスイッチを押す

2 電話帳 にタッチする

3 **電話をかける相手**にタッチする

4 発信 にタッチする

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

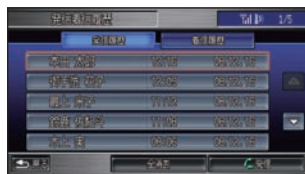
5 ハンドルの [オンフック] オンフックスイッチを押して、電話を切る

履歴から電話をかける

1 ハンドルの [オフフック] オフフックスイッチを押す

2 発信着信履歴 にタッチする

3 発信履歴 または 着信履歴 にタッチする

4 **電話をかける履歴**にタッチする

5 発信 にタッチする

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

6 ハンドルの [オンフック] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドレス帳から電話をかける

アドレス帳画面から電話をかけることができます。

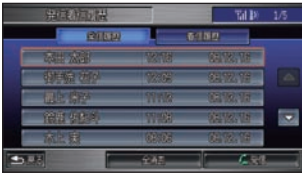
1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 **電話をかけたい相手**にタッチする

3 **電話をかける電話番号**にタッチする

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

4 ハンドルの [オンフック] オンフックスイッチを押して、電話を切る

履歴を消去する

1
簡単操作
メニュー → 電話をかける
にタッチする

標準操作
メニュー → 電話 にタッチする

2 発信着信履歴 にタッチする

3 発信履歴 または 着信履歴
にタッチする

4 **消去したい履歴**にタッチする

5 消去 にタッチする

6 消去する にタッチする

▼

選んだ履歴を消去します。

電話を受ける

電話がかかってくると

着信音が鳴り、通話中画面を表示します。

通話中の画面表示を [する] に設定する場合
→「電話の設定をする」(P131)

1 ハンドルの オフフック
スイッチを押す

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

2 ハンドルの ☎ オンフック
スイッチを押して、電話を切る

お知らせ

通話中画面表示を[する]に設定している場合、電話がかかってくると次の操作ができます。

着信音量	着信音の大きさを調節します。 →「着信音量／通話音量を調節する」(P131)
応答保留	応答を保留にします。
通話	電話に出ます。 また、通話中には次の操作ができます。
通話録音	通話内容を約 30 秒録音します。
通話音量	相手の声の大きさを調節します。→「着信音量／通話音量を調節する」(P131)
終了	電話を切ります。

QQ コールを利用する

ドライブ中に不意のトラブルにあったときなど、QQ コールに電話をかけて必要な処置をきいたり手配を頼んだりできます。

1

簡単操作

メニュー → 電話をかける にタッチする

標準操作

メニュー → 電話 にタッチする

2 QQ コール にタッチする

▼

QQ コールに電話がかかります。
オペレーターとお話しください。

緊急連絡先に電話する

緊急連絡先として登録されている Honda 販売店「My ディーラー」や保険会社、ロードサービスに電話をかけることができます。

1

簡単操作

メニュー → 電話をかける にタッチする

標準操作

メニュー → 電話 にタッチする

2 緊急連絡先 にタッチする

3 My ディーラー または 任意保険、ロードサービス にタッチする

4 発信 にタッチする

5 電話する にタッチする

▼

選んだ緊急連絡先に電話がかかります。

ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りの JAF やカーレスキュー 70 のロードサービスに電話をかけることができます。

1

簡単操作

メニュー → 電話をかける にタッチする

標準操作

メニュー → 電話 にタッチする

2 ロードサービス にタッチする

3 **利用したいロードサービス** にタッチする

▼

選んだロードサービスに電話がかかります。

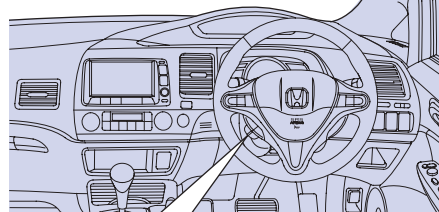
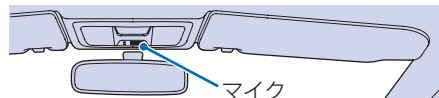
音声操作

音声で目的地の検索やオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。

簡単操作 標準操作

基本操作

音声操作を行なう上での基本的な流れを説明します。

発話した音声コマンドは、マップランプ付近に取り付けられたマイクで認識します。

※ イラストは代表例を掲載しています。

音声コマンドとは !?

Honda インターナビシステムを操作することができる言葉です。音声コマンドを認識すると、話したコマンドに応じて、Honda インターナビシステムの操作を実行します。

音声操作の流れ

音声操作は「発話スイッチ」を押して、音声コマンドを発話します。操作の例として、住所で目的地を検索する方法を紹介します。

1 ハンドルの を押す

▼

“ピッ”と発信音がして、画面のアイコンの が に変わり、音声コマンドを認識できる状態になります。

2 **“東京都港区南青山”**と話す

音声コマンドを認識すると、音声操作の内容を画面表示と音声で案内します。

▼

▼

詳細住所を入力するときは“詳細住所”とお話しください

3 ハンドルの を押し、**“詳細住所”**と話す

▼

音声コマンドを認識すると、音声操作の内容を画面表示と音声で案内します。

▼

▼

続きの住所をどうぞ

・・・次ページ手順４へつづく

4 ハンドルの [icon] を押し、“2 の 1 の 1” と話す

▼

音声コマンドを認識すると、音声操作の内容を画面表示と音声で案内します。

▼

▼

2 の 1 の 1 を表示します

1 つ前の操作に戻りたいとき

1 ハンドルの [icon] を押す

▼

1 つ前の音声操作画面に戻ります。

最初から操作をやり直したいとき

1 現在地 を押す

▼

現在地の地図画面に戻ります。

発話のポイント

音声を正しく認識させるために、ご注意いただきたい点や、数字の発話のしかたについて説明します。

音声操作の注意点

音声は、通常の運転姿勢で正しく認識します。顔をマイクに向けたり、無理に大きな声で発話する必要はありません。ただし、正しく認識させるために、次のことを守ってください。

- 「発話スイッチ」を押して、“ピッ”という音の後、約 5 秒以内に話す (画面のアイコンの [icon] が [icon] に変わった状態のときに話す)
- Honda インターナビシステムの認識可能な言葉 (音声コマンド) で話す
- 音声コマンドのみをはっきりと話し、“えーっと”など言わない
- エアコンの風量を下げる
- 車外の音などを遮断するため、窓を閉める

数字の発話のしかた

数字を音声で操作するときは、次の点に注意して発話してください。

住所の番号を発話するとき

“番号”、“号” などは発話しないでください。

住所の数字の読みかた

数字	読みかた
0	ゼロ
1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー
十の桁	ジュウ
百の桁	ヒャク、ビャク、ピャク
千の桁	セン、ゼン

電話番号、郵便番号を発話するとき

十、百、千などの桁情報は付けずに発話してください。

例 1：「8600」の場合

正　“ハチ ロク ゼロ ゼロ”

誤　“ハッセン ロッピャク”

電話番号、郵便番号の数字の読みかた

数字	読みかた
0	ゼロ
1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー

簡単操作 標準操作

声を覚えさせる（学習モード）

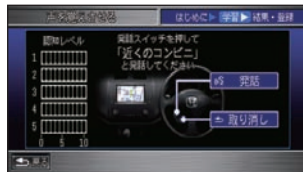
5人分の声のデータをHonda インターナビシステムに覚えさせることができます。

声を覚えさせることで、音声認識の認識率を向上させることができます。
また、音声操作するときに気をつけていただきたいアドバイスが表示されます。

1. **メニュー** → **付加機能** → **音声操作** にタッチする

2. **声を覚えさせる** にタッチする

3. **登録したいユーザー**にタッチする

4. 画面と音声ガイダンスに従って操作する

学習は5回(5つの単語)繰り返します。最後の学習を終了すると、学習結果として認知レベルとアドバイスを表示します。

5. **登録** にタッチする

6. **登録する** にタッチする

▼

選んだユーザーに学習結果を登録して、学習を終了します。

簡単操作 標準操作

音声で操作する

音声操作できる Honda インターナビシステムの操作を説明します。

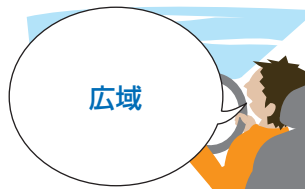
地図の表示を操作する

音声操作で地図のスケールや方位など表示の設定を変更することができます。

もっと広い範囲の地図を見る

1 ハンドルの [音声] を押し、**"広域"** と話す

▼

▼

地図のスケールが広域になります。

マップモードを変える

1 ハンドルの [音声] を押し、**"2 画面地図"** と話す

▼

地図のマップモードが変わります。

場所を探す

音声操作で各都道府県の施設、周辺の施設などを探すことができます。

各都道府県の施設を探す

各都道府県の施設を検索することができます。ここでは、栃木県のツインリンクもてぎを検索してルートを案内させる場合を例に説明します。

1 ハンドルの [音声] を押し、**"栃木県のツインリンクもてぎ"** と話す

▼

ツインリンクもてぎ周辺の地図を表示します。

2 ハンドルの [音声] を押し、**"ここに行く"** と話す

▼

ルートが計算され、ルート案内が始まります。

周辺の施設を探す

現在地周辺、ルート沿い、目的地周辺、経由地周辺などの施設を探すことができます。
また、この検索方法の場合は「コンビニ」や「ファーストフード」、「ファミリーレストラン」などの施設の種類で発話してください。
ここでは、現在地周辺のコンビニを検索してルートを案内させる場合を例に説明します。

1 ハンドルの [音声] を押し、**"近くのコンビニ"** と話す

▼

近くにあるコンビニの候補を案内します。

2 ハンドルの [音声] を押し、**"次"** または **"前"** と話す

▼

選んだコンビニ周辺の地図を表示します。

3 ハンドルの [音声] を押し、**"ここに行く"** と話す

▼

ルートが計算され、ルート案内が始まります。

電話番号で施設を探す

電話番号で施設を探すことができます。

1 ハンドルの [音声] を押し、**"電話番号"** と話す

2 ハンドルの [音声] を押し、**"0285(市外局番)"** と話す

3 ハンドルの [音声] を押し、**"64(市内局番)"** と話す

4 ハンドルの [音声] を押し、**"0001(残りの番号)"** と話す

5 ハンドルの [音声] を押し、**"検索する"** と話す

▼

ツインリンクもてぎ周辺の地図を表示します。

6 ハンドルの [音声] を押し、**"マークセット"** と話す

▼

検索した場所をマークリストに登録します。

登録した場所に行く

マークリストに登録した場所や、以前に目的地や経由地に設定した施設へ行くときは、簡単な発話で操作できます。
ここでは、マークリストに登録した「鈴鹿サーキット」へルート案内をさせる場合を例に説明します。

1 ハンドルの [音声] を押し、マークリストに登録されている **"鈴鹿サーキット"** の「読み」を話す

▼

マークリストに登録された鈴鹿サーキット周辺の地図を表示します。

2 ハンドルの [音声] を押し、**"ここに行く"** と話す

▼

ルートが計算され、ルート案内が始まります。

音声操作

P

ルート案内中に操作する

ここではルート案内中の操作の例として、ルート全体を表示させる方法と、到着予想時刻を読み上げさせる方法を紹介します。

ルート全体を表示する

1 ハンドルの を押し、**“全ルート表示”** と話す

▼

画面にルート全体を表示します。

目的地（経由地）に到着する時刻を確認する

1 ハンドルの を押し、**“到着予想時刻”** と話す

▼

おおよその到着予想時刻を読み上げます。

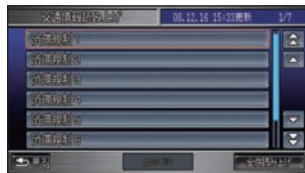
音声でインターナビ情報を確認する 通信

ニュースや目的地の天気予報など、インターナビ情報センターの情報を音声で操作することができます。
例として、交通情報をききます。

1 ハンドルの を押し、**“交通情報”** と話す

▼

音声コマンドを認識すると、インターナビ情報センターに接続し、交通情報をダウンロードします。

2 **ききたい情報**にタッチする

3 読み上げ にタッチする

▼

選んだ情報を読み上げます。

音声操作

P

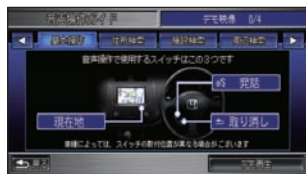
簡単操作 標準操作

音声操作ガイドを使う

音声操作の基本的な操作や主な音声コマンド（発話例）を確認することができます。

1. メニュー → 付加機能 → 音声操作 にタッチする

2. 音声操作ガイド にタッチする

3. **確認したい項目**にタッチする

4. デモ再生 にタッチする

▼

操作例のデモンストレーションが始まります。

デモ再生を途中で中断したいときは・・・

5. デモ中止 にタッチする

▼

デモンストレーションを中止します。

音声操作ガイドで確認できる内容

音声操作ガイドには、以下の項目があります。

項目	内容
基本操作	音声操作に必要な基本的な操作の説明が確認できます。
住所検索	住所による検索で、目的地を設定する例を確認できます。
施設検索	施設を検索して、そこに目的地を設定する例を確認できます。
周辺検索	ルート周辺の施設を検索して、そこに経由地を設定する例を確認できます。
電話番号検索	電話番号による検索で、目的地を設定する例を確認できます。
郵便番号検索	郵便番号による検索で、目的地を設定する例を確認できます。

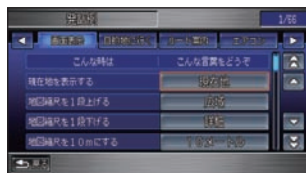
簡単操作 標準操作

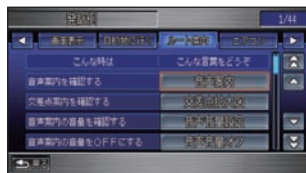
主な音声コマンドを確認する

主な音声コマンドの発話例を表示することができます。

1 メニュー → 付加機能 → 音声操作 にタッチする

2 発話例 にタッチする

3 確認したいジャンルにタッチする

4 確認したい発話例にタッチする

▼

音声コマンドの詳細な説明が確認できます。

確認できる発話例のジャンル

確認できる発話例のジャンルは以下の通りです。

ジャンル	内容
画面表示	画面の操作に関する発話例
目的地に行く	目的地設定に関する操作の発話例
ルート案内	ルート案内に関する操作の発話例
エアコン	エアコン操作に関する発話例
オーディオ	オーディオ操作に関する発話例
internavi	インターナビの操作に関する発話例
VICS・お天気	VICS や internavi ウェザーに関する操作の発話例
その他	環境の設定やハンズフリー電話、音声メモの操作に関する発話例
よく使う機能	地図スケールの変更や各種ランドマークの表示などに関する操作の発話例

VICSを使う

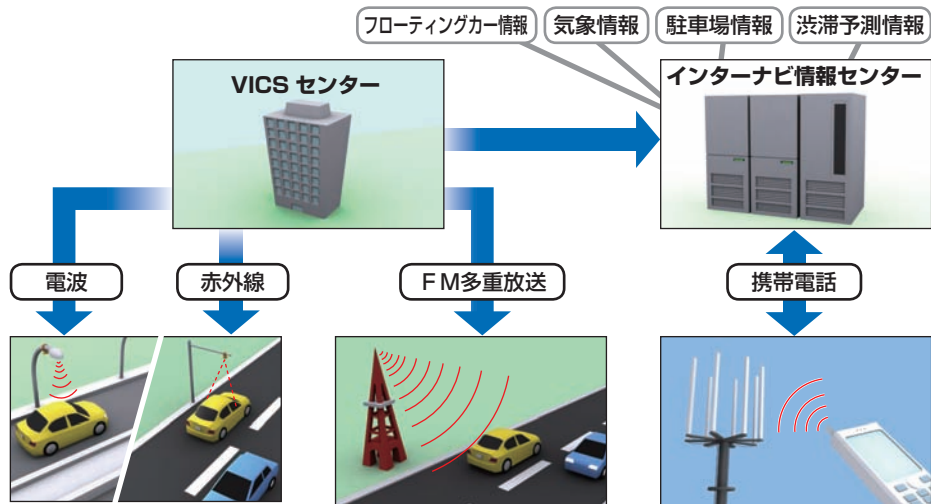
VICSセンターに集められた交通情報を利用することでHondaインターナビシステムをより活用することができます。

Q

VICS とは

VICS 情報の提供方法や画面表示などについて説明しています。

VICS 情報の提供方法について

道路・交通に関するさまざまな情報（渋滞情報 / 駐車場情報 / 規制情報など）は一度 VICS センターに集められます。その後、次の 4 つの方法で最新の道路交通情報 (VICS 情報) を提供します。

電波ビーコン (主に高速道路)
電波を使ったビーコンで情報が提供されます。

光ビーコン (主に一般道路)
赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。

FM-VICS(広域をカバー)
受信する FM 局のある都道府県内とその周辺の交通情報が提供されています。
ただし、渋滞を回避した経路誘導用のデータは含まれません。

インターナビ VICS(全国をカバー)
VICS の情報にさまざまな Honda 独自の情報を加え、携帯電話経由で提供しています。出発地で目的地までの情報を取得できます。

VICS 情報の画面表示について

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。運転者は VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報（順調情報も含む）**●旅行時間情報●交通障害情報●交通規制情報●駐車場情報**

レベル	情報	表示例	説明
1	文字情報		文字で交通情報 (渋滞情報、規制情報、駐車場情報など) を案内します。
2	図形情報		簡単な地図イラストなどで交通情報 (渋滞情報、規制情報、駐車場情報など) を案内します。
3	地図		ナビゲーションの地図や高速ガイド、行程ガイドに交通情報 (渋滞情報、規制情報、駐車場情報など) を表示し案内します。
	高速ガイド / 行程ガイド	VICS 情報	

お知らせ

- VICS 情報は月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部が FM 多重放送の有料放送視聴料となっていますので、巻末の「VICS 情報有料放送サービス契約約款」(P207) をご一読ください。(ただし、インターナビ情報センターから情報を受信する場合は、通信料が発生します。本書では通信料が必要な操作については 通信 マークをタイトル横に記載しています。)
- 提供される VICS 情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は最新のものではない場合もあります。
- VICS は、(財) 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

ビーコンとは !?

道路脇に設置された、VICS 情報を送信する装置です。
設置された場所周辺の交通情報をここから送信します。
電波ビーコンおよび光ビーコンの情報は、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用については Honda 販売店にご相談ください。

VICS 情報が受信しにくい状況

次のような状況下においては、VICS 情報が良好に受信できないことがあります。

電波ビーコン / 光ビーコン

受信が完了するまでの所要時間は、電波状況により変化します。

大型車の近くを走行

受信機の周辺に物を置く

太陽光やネオンサインの
影響がある

積雪などのしゃへい物がある

高架下を走行中

VICS センター
のメンテナンス中

FM 多重放送

受信が完了するまでの所要時間は、電波状況により変化します。

近くに高圧線 / 信号機 /
ネオンサインがある

障害物となる建物や山がある

トンネル内を走行中

放送局から遠く離れている

高架下を走行中

VICS センター
のメンテナンス中

インターナビ VICS 通信

携帯電話の電波状況が悪い

インターナビ情報センターのメンテナンス中

トンネル内を走行中

インターナビ VICS とは 通信

インターナビ VICS の特徴や通常の VICS との違いについて説明しています。

VICS とは何が違うの？

「インターナビ VICS」では、VICS 情報に加え、インターナビ情報センターが独自に収集、加工、処理を施し「VICS」と同じデータ形式で提供する「インターナビ VICS 情報」を通信で取得することができます。
目的地までのルート計算に必要な情報を取得することもできます。また、会員の走行情報 (フローティング・カー情報) によるインターナビ・フローティングカー情報、リアルタイムに予測処理を行う渋滞予測情報、独自の簡易図形情報、駐車場情報の提供も行います。

お知らせ

インターナビ VICS をご利用になるには、事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の *「通信機能を使えるようにする」(P80)* を参照してください。

インターナビ VICS を使ったルート計算について

インターナビ情報センターに接続して、VICS 情報を取得します。

「VICS 設定」で「自動ルート再計算」を [する] に設定している場合は、通常のルート計算後に、自動的にインターナビ VICS の情報を受信しルート再計算が行われます。

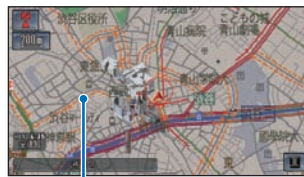
インターナビ情報センターへの接続について

情報受信中でも、[回線切断] にタッチすると、接続を中止することができます。

インターナビ情報センターに接続している経過時間を表示します。

電波の状態が悪いと接続されないことがあります。

インターナビ・フローティングカーシステムについて

インターナビ・プレミアムクラブ会員様の走行路線 / 時間の情報（フローティングカーデータ) を、次回の通信時にインターナビ情報センターに提供していただきます。
このデータを統計処理し会員全員で共有することで、通常の VICS 情報の約 8 倍の距離の区間でリンク旅行時間 *(P181)* 情報を用いたより正確なルート計算を可能にしました。この仕組みを応用し、都市高速のジャンクションの手前などでは、方面車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

インターナビ・フローティングカー情報での渋滞 / 混雑 / 順調の情報は点線で表示します。

個人を特定するデータを収集することはありません。

簡単操作 標準操作

VICS からの情報を確認する

VICS を利用すればさまざまな方法で交通情報を確認できます。

ルート上の交通情報を確認するとき

1 簡単操作

メニュー → VICS 交通情報を見る → この先の交通情報 にタッチする

標準操作

メニュー → VICS → この先の交通情報 にタッチする

▼

渋滞ポイントまたは規制ポイント周辺の地図を表示します。

目的地や経由地周辺の情報を確認するとき 通信

現在地、目的地、経由地周辺の VICS 情報を取得することができます。

1 簡単操作

メニュー → VICS 交通情報を見る → internavi VICS にタッチする

標準操作

メニュー → VICS → internavi VICS にタッチする

2 現在地周辺 または 目的地周辺 、経由地○周辺 にタッチする

3 情報を取得したい地点に ⊕ を合わせて internavi VICS 接続 にタッチする

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報を受信します。

地図をスクロールして情報を確認するとき 通信

スクロールしたカーソル周辺の VICS 情報を取得することができます。またルート案内中であれば渋滞情報を考慮したルートの再計算が行われます。

1 **確認したい場所**に ⌖ を合わせる

2 internavi VICS 接続 にタッチする

▼

インターナビ情報センターに接続し、カーソル周辺の VICS 情報を受信します。

場所を探して情報を確認する 通信

検索した場所周辺の VICS 情報を取得することができます。

1 簡単操作

メニュー → VICS 交通情報を見る → internavi VICS にタッチする

標準操作

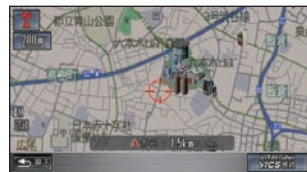
メニュー → VICS → internavi VICS にタッチする

2 検索して選択 にタッチする

3 **場所**を探す

→「場所を探す」(P57)

4 **情報を取得したい場所**に ⌖ を合わせて internavi VICS 接続 にタッチする

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報を受信します。

登録した受信地点周辺の情報を確認するとき 通信

あらかじめ受信地点を登録しておくと、その地点の VICS 情報を取得することができます。

1
簡単操作
メニュー → VICS 交通情報を見る → internavi VICS にタッチする

標準操作
メニュー → VICS → internavi VICS にタッチする

2 登録リスト にタッチする

3 情報を取得したい地点にタッチする

4 VICS 情報受信 にタッチする

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報を受信します。

登録するには

よく通る地点などを登録しておくと走行中、登録された地点に近づいたとき、自動でインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を受信します。

1
簡単操作
メニュー → VICS交通情報を見る → internavi VICS にタッチする

標準操作
メニュー → VICS → internavi VICS にタッチする

2 登録リスト にタッチする

3 新規登録 にタッチする

4 場所を探す
→「場所を探す」(P57)

5 登録したい場所に ⊕ を合わせる

6 登録地点セット にタッチする

▼

選んだ地点が登録され、登録リストに戻ります。登録された地点には VICS のマーク ( ) を表示します。

簡単操作 標準操作

FM 文字多重放送を見る

FM 放送局の文字放送 (見えるラジオなど) を受信して情報を確認できます。

リストから放送局を選ぶ

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

1

簡単操作

メニュー → VICS 交通情報を見る → FM 文字多重 にタッチする

標準操作

メニュー → VICS → FM 文字多重 にタッチする

2 **見たい放送局**にタッチする

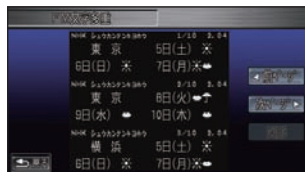
▼

FM 文字多重放送を受信します。

3 **見たい番組の番号**にタッチする

▼

番組を表示します。

VICSを使う

VICS 情報について

VICS に関する情報を詳しく説明しています。

VICS センターの運用時間

FM 多重放送	24 時間 (ただし月曜日午前 1 時～ 5 時は運用休止) ※3 月および 9 月に、深夜 1 時～ 5 時までをメンテナンスウィークとして保守のため運用を休止することがあります。
ビーコン	24 時間 (メンテナンスのため運用を休止することがあります。)
インターナビ	24 時間 (メンテナンスのため運用を休止することがあります。)

VICS の運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

VICS についてのお問い合わせ先

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にしてください。

巻末の本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- ◎ **VICS 車載器の調子や使用方法**
- ◎ **VICS 車載器の受信可否に関して**
- ◎ **地図表示 (レベル 3) の内容に関して**
- ◎ **VICS 情報の受信エリアについて**
- ◎ **VICS 情報の内容の概略に関して**
- ◎ **インターナビ VICS の簡易図形表示の内容に関して**

右記の VICS センターまでご連絡ください。

- ◎ **文字表示 (レベル 1) の内容に関して**
- ◎ **簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して**
- ◎ **VICS の概念**
- ◎ **サービス提供エリアに関して**

(財)VICS センター (東京センター)

受付番号	0570-00-8831 ※全国から市内通話料金でご利用になれます ※PHS からはご利用できません。
電話受付時間	9:30 ～ 17:45 (土曜、日曜、祝祭日を除く)
受付 FAX 番号	03-3592-5494(全国)
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの Honda 販売店または、巻末に記載している*本田技研工業株式会社「お客様相談センター」*までご連絡いただくことをお勧めします。

便利な機能

アドレス帳やスケジュールの管理、個人情報を守るシークレットモードを利用することができます。

R

簡単操作 標準操作

アドレス帳を使う

頻繁に電話をかける相手の電話番号はアドレス帳に登録しておくと、電話をかけるときに便利です。

アドレス帳を表示する

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

▼

アドレス帳を表示します。

電話帳とは何が違うの？

電話帳 (P132) は、電話するのに必要な名前と電話番号のみの表示ですが、アドレス帳は、メールアドレスやグループ番号なども登録することができます。
また、電話帳はアドレス帳の登録情報を利用して自動で表示しています。

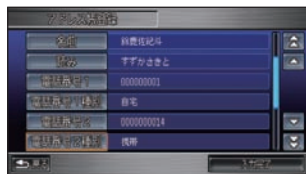
アドレスを登録する

アドレス帳に名前、読み、電話番号 (最大 3 件)、メールアドレス (最大 2 件)、グループ番号を登録することができます。

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 新規登録 にタッチする

3 **入力したい項目**にタッチする

4 項目の内容を入力する

5 入力完了 または 完了 にタッチする

6 手順 3 ～ 5 を繰り返し、必要な項目を設定する

7 入力完了 にタッチする

アドレスを編集する

登録済みのアドレスを編集 / 消去することができます。

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 **編集したいアドレス**にタッチする

3 詳細情報 にタッチする

▼

アドレス詳細情報画面を表示します。
以降の操作手順は、*「アドレスを登録する」(P158)* の手順 3 以降と同様に行います。

アドレスを消去する

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 **消去したいアドレス**にタッチする

3 消去 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

選んだアドレスを消去します。

便利な機能

R

USB メモリーから アドレス帳を読み込む

あらかじめ USB メモリーに保存されたアドレスのデータをアドレス帳に読み込むことができます。

vCard 形式について

- vCard 形式とは、名刺データを扱うための共通フォーマットで Honda インターナビシステムでは、Ver.2.1 および Ver.3.0 に対応しています。
- ご自宅のパソコンで vCard 対応のメールソフトや住所録のソフトがあれば、その中のデータを vCard 形式に書き出し (エクスポート)、そのファイルを USB メモリーに保存すればアドレス帳に読み込むことができます。
- USB メモリー内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリ含む) まで認識できます。

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 機能 → USB メモリー にタッチする

3 データ読み込み にタッチする

4 **読み込みたいアドレス**にタッチする

▼

選んだアドレスをアドレス帳に保存します。

USB メモリーのアドレスを消去する

USB メモリー内のアドレス帳のデータを選んで消去します。また、USB メモリー内のすべてのアドレスを一括して消去することもできます。

1 メニュー → アドレス帳 にタッチする

2 機能 → USB メモリー にタッチする

3 データ消去 にタッチする

4 **消去したいアドレス**にタッチする

5 消去する にタッチする

▼

USB メモリー内の選んだアドレスを消去します。

標準操作

スケジュールを管理する

カレンダーに直接予定を登録して管理することができます。

お願い
オーディオなどのスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

1. メニュー → 付加機能 にタッチする
2. スケジュール設定 にタッチする
3. **スケジュールを設定したい日付**にタッチする

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

簡単操作 標準操作

音声メモを使う

音声や通話を録音したりできます。

音声を録音する

約 30 秒の録音データを通話メモと合わせて最大 10 件までハードディスクに保存することができます。

1 メニュー → 付加機能 → 音声メモ にタッチする

▼

音声メモのリストを表示します。

2 新規録音 にタッチする

▼

録音が始まります。

音声メモを再生する

1 メニュー → 付加機能 → 音声メモ にタッチする

2 再生したい音声メモにタッチする

[音声メモ] から録音した音声メモは 、通話中の通話録音は が表示されます。

3 再生 にタッチする

▼

再生を開始します。

音声メモを消去する

録音した音声メモを消去します。

1 メニュー → 付加機能 → 音声メモ にタッチする

2 消去したい音声メモにタッチする

3 消去 にタッチする

4 消去する にタッチする

▼

選んだ音声メモを消去します。

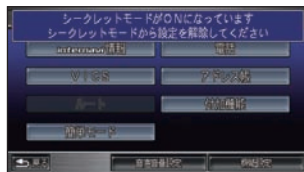
便利な機能

R

簡単操作 標準操作

シークレットモードを使う

マーク情報やアドレス帳などの表示をパスワードで規制できます。

シークレットモードが設定されているときに、マーク情報やアドレス帳などの表示操作を行うと、シークレットモードが ON であることを伝えるメッセージを表示します。

シークレットモードを設定するとき

シークレットモードの設定にはパスワードの設定が必要になります。
パスワードの設定後、シークレットモードを ON に設定します。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 シークレットモード にタッチする

3 **4 桁の数字**を入力し 完了 にタッチする

4 確認のため再度、**4 桁の数字**を入力し 完了 にタッチする

5 ON にタッチする

▼

シークレットモードの設定が完了します。

シークレットモードを解除するとき

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 シークレットモード にタッチする

3 **パスワード(設定時の4桁の数字)** を入力し 完了 にタッチする

4 OFF にタッチする

▼

シークレットモードを解除します。

パスワードを忘れたときは

文字未入力の状態で・・・

1 修正 を **5 回連続**でタッチする

▼

パスワードをクリアします。

簡単操作 標準操作

ハードディスク容量を確認する

ハードディスクの使用状況を確認することができます。

お知らせ

- 空き容量とは、HDD サウンドコンテナに音楽データを保存できる容量のことです。音楽データにはプレイリストなどの管理情報も含みます。
- 10%程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

1 メニュー → 付加機能 にタッチする

2 各種情報 にタッチする

3 ハードディスク容量 にタッチする

▼

現在の空き容量が百分率 (100%) で表示され、使用状況が確認できます。

便利な機能

R

標準操作

保存データを消去する

ユーザーデータをすべて消去することができます。

お願い

- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、回避エリア、アドレス帳などのユーザーデータを消去してください。

1. メニュー → 付加機能 にタッチする
2. データ編集 にタッチする
3. 保存情報の全消去 にタッチする
4. 全消去する にタッチする
5. 実行する にタッチする

▼

保存情報が消去され、起動画面を表示します。

お知らせ

- 一度全消去すると、元に戻せません。また、ユーザーデータばかりでなく、案内中のルートなどの情報も消去します。保存しておきたい情報などは USB メモリーに保存しておくことをお勧めします。
- この操作で、HDD サウンドコンテナの音楽データは消去できません。HDD サウンドコンテナの音楽データを消去するときは、*「HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P117)* を参照してください。

便利な機能

R

地図 / その他の情報について

地図バージョンなどの確認方法について説明します。

この Honda インターナビシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」(財団法人日本デジタル道路地図協会作成) と「交通規制データベース」(財団法人日本交通管理技術協会作成) をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報 (高速道路・有料道路は 2008 年 12 月までに、国道・都道府県道は 2008 年 9 月現在までに)[2009 年春版 バージョン (VER)14.05 の場合] を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

地図バージョンと プログラムバージョンの見かた

メニュー → 付加機能 → 各種情報

→ 地図バージョン (簡単操作モード)

→ バージョン情報 (標準操作モード)

にタッチする

地図版権について

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しています。(測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 20 業使、第 204-157 号)
- この地図作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-134T)
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTER が作成したものを使用しています。
- 本品に使用している交通規制データが現場の交通規制と異なるときは、実際の交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

本製品は、山崎 敏氏が開発し著作権を有するオープンソフトウェア「yz2」が含まれております。なお、「yz2」の不具合に起因するすべての損害につき、同氏はいかなる保証を行うものではありません。

ナビ機能の設定を変える

ナビゲーション機能に関する初期設定を行います。

簡単操作 標準操作

設定内容について

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。ナビゲーションの設定項目は、簡単操作モード、標準操作モードごとに機能がそれぞれ次のように分類されています。

1 メニュー → 設定を変える にタッチする

項目	内容
表示設定	時計表示に関する設定が行えます。
VICS 情報表示	VICS 情報を地図に表示させる、させないの切り換えが行えます。
自宅登録 / 自宅変更	自宅を登録します。また、登録後は位置の変更や消去も行えます。
通信機能設定	Bluetooth 接続や通信の接続先の選択操作が行えます。→「通信機能を使えるようにする」(P80)
電話設定	通話中の画面表示や自動着信、通話音量、着信音量の設定が行えます。→「電話の設定をする」(P131)

環境の設定について

Hondaインターナビシステムの各機能の初期設定を行うことができます。

標準操作

1 **メニュー** → **機能設定** にタッチする

表示設定	時計表示や地図色、地図に表示するアイコンなどの設定が行えます。
誘導設定	ルート設定を行ったときの表示や音声の案内方法、ルートの計算方法についての設定が行えます。
VICS 設定	地図に表示させる渋滞情報や規制情報、駐車場情報、インターナビ VICS に関する設定が行えます。
通信機能設定	Bluetooth 接続や通信の接続先の選択操作が行えます。→*「通信機能を使えるようにする」(P80)*
電話設定	通話中の画面表示や自動着信、通話音量、着信音量の設定が行えます。→*「電話の設定をする」(P131)*
その他設定	操作時に鳴る「操作音」の設定やその他の案内に関する設定が行えます。
現在地修正	現在の位置を修正することができます。

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

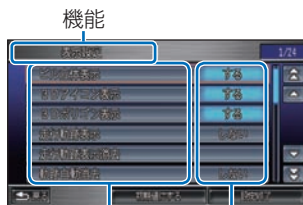
1 簡単操作

メニュー → **設定を変える** にタッチする

標準操作

メニュー → **機能設定** にタッチする

2 **変更したい設定内容**にタッチする

3 **変更したい項目**にタッチする

4 **設定**にタッチする

▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 **設定終了** にタッチする

▼

設定が完了します。

簡単操作 標準操作

地図データを更新する

DVD による地図データ更新（スマート全地図更新）の概要を説明します。

お願い

エンジンが停止している状態で以降の操作を行うと、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- 地図データ更新は、インターナビ・プレミアムクラブの会員サービスとしてご提供します。会員登録をされていない場合はサービスが受けられません。
  必ず Honda 販売店での会員登録をお願いします。
- 更新時期はインターナビ情報センターからパーソナル・ホームページなどを通じてご案内します。
- 詳しくは更新用 DVD に添付する説明書をご覧ください。

DVD で地図を更新するには

地図データのバージョンアップは DVD を使って行います。
タイトル情報を格納した内蔵の Gracenote データベース (P118) も同時に更新します。

1 ▲ を押し、地図データ更新用 DVD を本機に挿入する

2 実行する にタッチする

3 いずれかにタッチする

[通信で認証を行う]→手順 7 へ
[販売店で認証を行う]→手順 4 へ

4 パスワード入力 にタッチする

5 Honda 販売店から入手した**認証用パスワード**を入力する

6 入力完了 にタッチする

7 認証が問題なく完了すれば、以下の画面を表示します。

 確認 にタッチする

▼

再起動し、約 30 分間更新の準備が行われます。
この間、オーディオ操作を含む全ての機能がご使用になれません。

・・・次ページ手順 8 へつづく

8 「地図更新に関する注意事項」が表示されましたら内容を読んだ上、**確認** にタッチする

地図データおよび、他の情報の更新が行われます。更新には時間がかかります。

画面の案内にしたがって地図データ更新用 DVD を取り出してください。

お知らせ

- 地図更新が完了するまでの時間はバージョン情報画面 *(P166)* で確認できます。
  ただし、更新進捗状況や残り時間はデータ量やシステム状態によって異なります。
- 地図更新中にエンジンスイッチを“0”にすると、次回は続きから更新します。
- 地図更新中は、Honda インターナビシステムの操作に時間がかかることがありますが故障ではありません。
- 地図データ更新用 DVD を使用中に DVD を取り出すと更新が中断します。
  この場合、ナビゲーション機能が使えなくなりますので、再度 DVD を挿入してください。
- 一度、更新された地図は古いバージョンに戻すことはできません。

簡単操作 標準操作

オーディオ・テレビの設定を変える

音質を調節するには

4 つの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。

1 各メディアの操作画面を表示する

例）音楽 CD 操作画面

2 音質調整 にタッチする

3 各項目にタッチして調節する

調節項目について

BASS	低音の調節を行います。低音を強調したいときは [＋]、弱くしたいときは [－] にタッチします。
TREBLE	高音の調節を行います。高音を強調したいときは [＋]、弱くしたいときは [－] にタッチします。
FADER	前後のスピーカー音量バランスを調節します。 フロントのスピーカー音量を大きくしたいときは [FR]、リヤのスピーカー音量を大きくしたいときは [RR] にタッチします。
BALANCE	左右のスピーカー音量バランスを調節します。 左のスピーカー音量を大きくしたいときは [L]、右のスピーカー音量を大きくしたいときは [R] にタッチします。
車速連動音量	車の速度に応じて [LO]、[MID]、[HI] の 3 段階で音量を変えます。[OFF] は音量を変えません。

映像の色を調節するには

テレビや DVD ビデオでは色の濃さ、色合いを調節することができます。

1 テレビ *(P101)* または DVD ビデオ *(P104)* を見る

2 画面 を押す

3 色調整 にタッチする

4 **色合い**
赤 または 緑 にタッチする

色の濃さ
－ または ＋ にタッチする

5 決定 にタッチする

色の調節が完了します。

ワイド画面に切り換えるには

DVD ビデオでは通常の画面表示（ノーマル）の他に 3 種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。
テレビはワイドモード固定になっているので画面表示のモードを切り換えることはできません。

1 DVD ビデオを見る (→ P104)

2 **画面** を押す

3 **ワイド切換** にタッチする

4 **切り換えたいモード**にタッチする

5 **決定** にタッチする

▼

ワイドモードが切り換わります。

DVD ビデオの初期設定を変更するには

DVD ビデオ機能をあらかじめお好みの設定にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える必要がなくなります。

1 DVD ビデオを見る (→ P104)

2 再生中、**画面**にタッチする

3 **停止** にタッチする
ブルーバック画面になります。

4 **画面**にタッチする

5 **初期設定** にタッチする

6 **変更したい項目**にタッチする

7 **項目の設定**にタッチする

▼

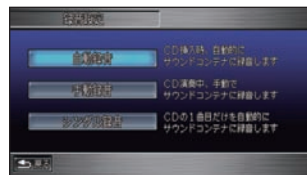
初期設定の変更が完了します。

HDD サウンドコンテナへの録音方法を設定するには

音楽 CD の録音モードを設定します。
録音中にモードを変更する場合は、録音をいったん停止してください。

1 音楽 CD(P96) を再生し、**オーディオメニュー** にタッチする

2 **録音設定** にタッチする

3 いずれかにタッチする

自動録音	CD を再生すると、自動的に HDD サウンドコンテナに録音します。
手動録音	CD 再生中に、タッチ操作して録音したい曲だけを HDD サウンドコンテナに録音します。
シングル録音	CD の 1 曲目だけを自動的に HDD サウンドコンテナに録音します。

▼

録音モードの設定が完了します。

Q & A (よくある質問について)

操作方法や仕様について、よくある質問をまとめています。

ナビゲーション機能について

Q 01 バッテリーを交換したら、現在地が東京になっている。時刻もずれている。どうしたらいい？	**A 01** GPS が測位するまでしばらくお待ちください。 バッテリーからの電源が供給されない状態がしばらく続くと、現在地や日時が工場出荷時の状態に戻ります。しかし、GPS 衛星からの電波を受信して測位 *(P180)* が完了すると、正しい現在地、日時を示します。しばらく待っても改善されない場合は、お近くの Honda 販売店にご相談ください。
Q 02 現在地がよくずれる。なぜ？	**A 02** GPS アンテナ周辺に金属製の物が置かれている可能性があります。 GPS アンテナはインストルメントパネルの内部 (中央) にあります。GPS アンテナ周辺に物 (金属製のトレー、小銭、携帯電話等) が置かれていないか確認してください。
Q 03 地図の縮尺が 25m から 50m に自動で切り換わった。なぜ？	**A 03** 安全上の配慮から、地図の縮尺を広域にする仕様になっています。(市街地図のとき) 走行速度がおよそ 90km/h になると、50m スケール (市街地図) になり、およそ 80km/h 以下になると元の縮尺に戻ります。

通信機能について

Q	A
Q 01 自分の携帯電話は対応しているの？	**A 01** ホームページをご覧ください。 対応機種についてはインターナビ・プレミアムクラブホームページの「対応通信機器について」をご覧ください。 ホームページ URL： http://www.premium-club.jp/
Q 02 Bluetooth がつながらない！	**A 02** 接続まで時間がかかることがあります。もうしばらくお待ちください。 携帯電話側、Honda インターナビシステム側の双方で接続先を検出するのに時間がかかることがあります。もうしばらくお待ちください。 --- 設定方法が誤っている可能性があります。 **処置①：携帯電話の電源を入れ直してください。** 再度、お手持ちの携帯電話の取扱説明書と合わせまして、本書 *「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P81)* の操作を行ってください。 **処置②：登録内容を消去してください。** 携帯電話側の登録内容の消去および Honda インターナビシステム側の登録されている携帯電話の消去 *(P82)* を行ってください。 その後、本書 *「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P81)* の操作を行ってください。

通信機能について（つづき）

Q	A
Q 03 Bluetooth の設定方法がわからない！	A 03 **ホームページをご覧ください。** インターナビ・プレミアムクラブホームページの「対応通信機器について」のページで機種毎の設定手順をご説明した PDF を提供しております。 ホームページ URL： http://www.premium-club.jp/
Q 04 インターナビ・プレミアムクラブの暗証番号を忘れてしまった。	A 04 **インターナビ・プレミアムクラブサポートデスクにご連絡の上、再発行の手続きをお取りください。** TEL：0120-738147（会員専用） メールアドレス：member@premium-club.jp 営業時間： 月～土曜　9 時 ～ 12 時　13 時 ～ 18 時 祝祭日、夏期休暇、年末年始を除く
Q 05 通信費はどのくらいかかる？	A 05 **インターナビ VICS の受信 1 回あたり 150 ～ 200 パケット程度です。** 通信費はお客様と携帯電話会社との契約プランにより異なります。

地図データについて

Q 01 他メーカーの地図ディスクは使えるの？	A 01 使用できません。 本機は市販されている CD や DVD の地図ディスクには対応しておりません。
Q 02 最新の地図データの更新 / 入手方法はどうするの？	A 02 地図データ更新用 DVD をお配りいたします。(スマート全地図更新) インターナビ・プレミアムクラブの会員サービスとして初回車検前に 1 回無料で全データを更新する地図データ更新用 DVD を指定のディーラー (My ディーラー) 経由でお配りします。 また、有料での更新も承ります。地図更新の時期についてはインターナビ・プレミアムクラブパーソナル・ホームページや電子メールなどでお知らせしますので、必ず会員登録をお願いします。
Q 03 新しい道が出来ているが、反映されている地図データはありますか？	A 03 internavi 情報から確認、ダウンロードができます。(新規道路データ配信) 通信機能を使った「internavi 情報」から新設道路のデータを確認 / 取得ができます。
Q 04 地図を更新したあと、前の地図バージョンに戻すことはできますか？	A 04 できません。 一度、最新の地図バージョンに更新すると、前のバージョンに戻すことはできません。

地図データについて（つづき）

Q 05 **DVD を使った地図データの更新（スマート全地図更新）中に DVD を取り出すとどうなるの？**	**A 05** **ナビゲーション機能が使用できません。** 地図データ更新中に DVD を取り出すと、更新を中断します。中断中はナビゲーション機能が使用できません。ナビゲーション機能をご使用になるときは、再度地図データ更新用 DVD を挿入してください。
Q 06 **ルートの周辺以外の新しい道路のデータ（新規道路データ配信）を取得する方法はありますか？**	**A 06** **internavi 情報から確認、ダウンロードができます。** [メニュー] → [internavi 情報] → [新規道路データ] に提供データの一覧を表示します。欲しいデータを選びダウンロードしてください。 →「新しい道路データを取得する」(P86) なお、選択したものより前にデータがある場合、一緒にダウンロードします。
Q 07 **新しい道路のデータ（新規道路データ配信）のダウンロードは有償ですか？**	**A 07** **約 1 年間、無料でダウンロードできます。** HDD に収録されている地図データの発行日から約 1 年間、無料でダウンロードできます。 詳しくはインターナビ・プレミアムクラブサポートデスクにご確認ください。 TEL：0120-738147（会員専用） メールアドレス：member@premium-club.jp 営業時間： 月～土曜　9 時 ～ 12 時　13 時 ～ 18 時 祝祭日、夏期休暇、年末年始を除く ダウンロードにかかる通信費はお客様のご負担となります。提供期間終了後はスマート全地図更新を行わないと新しい道路データのダウンロード更新はできません。

オーディオ機能について

Q	A
Q 01 音楽CDのタイトル情報が取得できない！	**A 01** すべてのタイトル情報が取得できるわけではありません。 →「タイトル情報を取得する」(P118) すべての音楽CDのタイトル情報をサポートしているわけではありません。 また、工場出荷時期以降に発売されたCDについて、ハードディスク内のタイトル情報では未対応となります。 通信機能をご利用いただきますと、インターネットを利用したタイトル情報の取得が可能となりますので、工場出荷時期以降に発売されたCDのタイトル情報でも取得できる可能性があります。
Q 02 地上デジタル放送に対応していますか？	**A 02** 地上デジタル放送の「ワンセグ放送」に対応しています。 地上デジタル放送の「ハイビジョン放送(HDTV)」には対応しておりません。 また、アナログ放送も対応しておりません。

ナビ専門用語集

Honda インターナビに関する
専門用語を集めました。

インターナビ・プレミアムクラブ *(→ P78)*
Honda 純正インターナビ対応ナビゲーションシステム（Honda インターナビシステム）オーナーの方にご加入いただく会員制度です。Honda 独自のテレマティクスサービス、無償·有償の地図更新サービス (スマート地図更新サービス)、パソコン、携帯電話のパーソナル·ホームページなどさまざまなドライブサポートをご提供します。

オートリルート
ルート案内中に、曲がるべき交差点で曲がれなかったりしておすすめのルートから離れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。

音声コマンド (→ P138)
Honda インターナビシステムを操作することができる言葉です。音声コマンドを認識すると、話したコマンドに応じて、Honda インターナビシステムの操作を実行します。

カスタマイズメニュー *(→ P40)*
よく使う機能を 1 ヶ所に集めておくことができるメニューのことです。標準操作モードのみの機能です。

傾斜センサー
自車の上り、下りを調べる部品です。

結露 *(→ P87)*
真冬に車内を暖かくしていると、窓ガラスが曇ってきます。これは、車内の空気中にある水蒸気が外気で急速に冷やされて水滴になるためです。このような状態を結露といいます。寒いとき、暖房を始めたばかりの車内などでは、ディスクが結露しやすくなります。

自車 *(→ P19)*
この本機を装着しているお客様のお車のことです。

車速センサー
車の走行速度を測定する部品です。

振動ジャイロセンサー
車の方向を調べる部品です。

スマート IC
高速道路の本線上やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように配置された ETC 専用のインターチェンジのことで、2006 年 10 月から一部の高速道路で本格導入されています。

走行軌跡 *(→ P19)*
地図には、自車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡といいます。

付録

さまざまな専門知識、情報を記載しています。

測位
GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

ダイナミックレンジコントロール
DVDビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音や大きな音でもききやすくする機能です。

駐車場オートガイド(→P64)
推奨する駐車場を自動的に案内する機能です。「駐車場セレクト」の条件を設定していないときは現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。

駐車場セレクト(→P64)
インターナビVICSの駐車場情報をあらかじめ設定した条件で、表示することができる機能のことです。表示する優先順位を決めたり表示件数を絞り込むことができます。

二ヶ国語放送(→P103)
ひとつのチャンネルで同時に「主音声」と「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているものを言います。
例）主音声＝日本語、副音声＝英語

パーソナル・ホームページ(→P55)
インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスで、自宅のパソコンからルート計算したり車のメンテナンス状況を管理することができます。

非表示設定データ
お客様自身で非表示登録して、個別に表示させないようにしたランドマーク施設のことです。実際にはなくなった施設が地図データに残っているとき、非表示登録しておくと便利です。
“ユーザーランドマーク”と合わせて最大100件まで登録できます。

ビーコン(→P148)
道路脇に設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報をここから送信します。
電波ビーコンおよび光ビーコンの情報は、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用についてはHonda販売店にご相談ください。

物理チャンネル番号(→P103)
リモコン番号とは異なり、実際に送信されているチャンネル番号(13ch～62chまで)のことを言います。

マップコード(→P65)
特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「＊」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

MAPCODE®

※マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

マップマッチング
実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークを表示するなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

マルチ編成(→P103)
1つのチャンネルで複数の番組を放送できるサービスです。

メディア(→P91)
本書では、CD、ラジオ、テレビ、HDDサウンドコンテナなどの視聴覚情報のことを総称して「メディア」と表現し説明しています。

ユーザーランドマーク
お客様自身で登録したランドマーク施設のことです。地図データにはないランドマーク施設を追加するときに便利です。
“非表示設定データ”と合わせて最大 100 件まで登録できます。

ランドマーク (→ P49)
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

リモコン番号 (→ P103)
放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。

リンク旅行時間 (→ P152)
交差点から交差点までなどで区切られた区間（リンク）の通過所要時間のことを言います。
Honda インターナビシステムは主にこの情報を積算することでルート計算を行います。
(FM-VICS データには一般道路のリンク旅行時間は含まれていません。)

ワンセグ (→ P101)
携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルテレビ放送のことです。
別名「1seg」「1 セグメント放送」「1 セグ放送」で、地上デジタル放送の 1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから、「1 セグ=ワンセグ」と呼ばれています。
ワンセグは放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

ハイビジョン放送 (HDTV) の地上デジタルテレビ放送は 12 セグメント使用されています。

ワンプッシュメニュー (→ P40)
地図の向きを変えたり、前回検索した地点にカーソルを合わせる操作をいち早くできるメニューです。

Bluetooth(ブルートゥース) (→ P77)
パソコン、ミュージックプレーヤー、デジタルカメラなどの電子機器同士をワイヤレスで通信できる最先端のテクノロジー規格です。

Bluetooth®

Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能を使用することができます。

※ Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

dts(ディー・ティー・エス)
dts は、Digital Theater Systems(デジタル・シアター・システム)の略称です。世界の 27,000 スクリーン以上の映画館で採用されている劇場用デジタル・サウンド・システムの新方式です。

dts®

※ dts は米国 Digital Theater Systems,Inc. の登録商標です。

EPG (→ P103)
Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

GPS(ジー・ピー・エス)(→P19)

GPSは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で周回している3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

MP3(エム・ピー・スリー)(→P98)

「MPEG-1 Audio Layer3」の略称です。MPEGとは「Motion Pictures Experts Group」の略でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳できこえない範囲の音や大きい音に埋もれてきき取れない音を処理することにより高音質で少ないデータ容量のファイルを作ることができます。音楽CDの内容を約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ記録することが可能になります。

VICS(ビックス)(→P148)

VICS(Vehicle Information and Communication System: 道路交通情報通信システム)とは、1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

VICS®

※VICSは、(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSリンク

VICS情報が提供(予定を含む)されている道路区間を、交差点やインターチェンジなどで分割し、番号を付けた区間のことです。
インターナビVICSも同じ番号体系を利用し、フローティングカーシステムによってVICSデータの未提供リンクを補っています。

WMA(ダブリュー・エム・エー)(→P98)

Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。
WMAは、著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを再生するには、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されています。本機では著作権で保護されたWMAファイルについては再生することができません。

※Microsoft、Windows Media、は米国MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における登録商標です。

3桁チャンネル番号(→P103)

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。

例) リモコン番号が“5”のとき
ワンセグでは600番台から始まり、
1つ目の番組は「651」、
2つ目の番組は「652」、
3つ目の番組は「653」となります。

リモコン番号が“10”のとき
「701」、「702」、「703」となります。

3D ハイブリッドセンサー

車の方向 (振動ジャイロセンサー)、車の高度差 (傾斜センサー)、車の走行速度 (車速センサー) を測定して､自車位置を決める部品です。

3G(第 3 世代携帯電話)

第 3 世代携帯電話とは、「IMT-2000」規格に準拠した ITU(国際電機通信連合) によって定められたデジタル携帯電話の方式の総称です。第 2 世代携帯電話方式 (PDC など) と比べて、高速なデータ通信が行えます。
音質の良い通話や映像の配信など、さまざまな通信サービスを行うことができます。

付録

U

画面マップ

各ボタン、各メニューを選んだときに使える主な機能のメニューについて説明します。

次ページへつづく

メニュー
つづき・・・
VICS 交通情報を見る
VICS 図形情報
VICS 図形情報が確認できます。
VICS 文字情報
VICS 文字情報が確認できます。
割込情報
一番最後に割り込んだ情報を確認できます。
FM 文字多重
P156
FM 放送局の文字放送が確認できます。
internavi VICS
P154
インターナビ・プレミアムクラブから渋滞情報や駐車場を確認できます。
この先の交通情報
P153 ルート上の交通情報が確認できます。
VICS 地域選択
VICS の放送局が選べます。
VICS 情報表示
P167 地図に表示する VICS 情報を ON/OFF します。
ルートを変える
ルート再計算
P75 ルートを計算し直します。
誘導中止 / 誘導開始
P75 ルート案内を一時中止、再案内できます。
ルート表示
P74
全てのルートが確認できる地図を表示します。
標準モードにする
P27 標準操作モードに変更できます。
次ページへつづく

付録

U

メニュー
つづき・・・
電話をかける
ワンタッチダイヤル１～５
P134
ワンタッチダイヤルに登録された相手に電話をかけることができます。
QQ コール
P137
QQ コールに電話をかけることができます。
ダイレクト発信
P134
電話番号を直接入力して電話をかけることができます。
電話帳
P135
登録された電話帳から電話をかけることができます。
発信着信履歴
P135
過去の発信着信履歴から電話をかけることができます。
ロードサービス
P137
ロードサービスに電話をかけることができます。
緊急連絡先
P137
緊急連絡先に電話をかけることができます。
電話設定
P131
ハンズフリー電話の設定ができます。
通信機能設定
P80
携帯電話機の接続設定ができます。
次ページへつづく

メニュー
つづき・・・
アドレス帳
新規登録
P158
直接入力によるアドレス帳
の新規登録が行えます。
全消去
すべてのアドレス帳を一括消去できます。
機能
アドレス帳の並び順の変更
や、USB メモリーからの読
み込み (P160) などが行え
ます。
検索
アドレス帳内の検索が行え
ます。
次ページへつづく

メニュー

つづき・・・

付加機能

各種情報

地図バージョン(P166)、ハードディスクの容量(P164)が確認できます。

音声メモ

P162
音声の録音や、ハンズフリー電話の通話録音(P136)の確認が行えます。

音声操作

P142
音声操作機能に関する設定変更や機能の確認などが行えます。

シークレットモード

P163
アドレス帳や電話帳、マーク情報の表示をパスワードで規制できます。

音声音量を変える

P21
音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。

設定を変える

P167
Honda インターナビシステムの各機能の初期設定を変更できます。

付録

U

P59
ジャンルごとに施設を探すことができます。

P58
施設や地名の名称を入力して場所を探します。

自宅を登録します。（→P28）
（自宅へのルートを設定します。（→P71））

P61
住所から場所を探します。

P57
電話番号から場所を探します。

P76　目的地を消去します。

付録

U

画面

地図向きを変える

P31

「北を上に表示」、「進行方向を上に表示」から地図の向きを選ぶことができます。

画面明るさ調整

画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さを調節することができます。

ランドマーク表示

P49

表示させるランドマークを分類ごとに選ぶことができます。

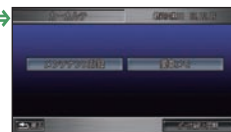
画面を消す

画面の表示を消します。

表示の設定を変える

P167

時計表示に関する設定が行えます。

標準操作モード
メニュー
internavi 情報
Honda からのお知らせ
P84
カーカルテ
お車の各パーツやオイル等の交換時期を管理できます。
internavi VICS
P154
指定した場所の VICS 情報を取得できます。
internavi ウェザー
P85
さまざまな地域の天気情報を取得できます。
新規道路データ
P86
取得できる新規道路データがある場合に表示します。
位置付き安否連絡
災害時に安否の連絡を行うことができます。
最新のニュース
今日のニュース
Honda ニュース
お知らせ
さまざまなニュースやお知らせが確認できます。
すべての情報をパーソナル HP と同期する
回線切断
通信中の回線を切断します。
次ページへつづく

メニュー

つづき・・・

VICS

VICS 図形情報　VICS 図形情報が確認できます。

VICS 文字情報　VICS 文字情報が確認できます。

割込情報　一番最後に割り込んだ情報を確認できます。

FM 文字多重　P156
FM 放送局の文字放送が確認できます。

internavi VICS　P154
インターナビ・プレミアムクラブから渋滞情報や駐車場情報を確認できます。

この先の交通情報　P153　ルート上の交通情報が確認できます。

駐車場情報　VICS で情報収集された駐車場を確認できます。

VICS 地域選択　VICS の放送局が選べます。

VICS 設定　P168　地図に表示させる渋滞情報や規制情報、駐車場情報、インターナビ VICS に関する設定が行えます。

付録

U

次ページへつづく

メニュー
つづき・・・
ルート
ルート再計算
P75 ルートを計算し直します。
5ルート計算
計算条件の違う別のルート候補から、お好みのルートに変更することができます。
迂回計算
ルート案内中に、現在地から一時迂回して、元のルートに戻ることができます。
誘導中止／誘導開始
P75 ルート案内を一時中止、再案内できます。
計算条件変更
設定されているルートを、計算条件を変えて再計算することができます。
IC指定
高速道路の入口と出口のインターチェンジを指定することができます。
全ルート表示
P74
全てのルートが確認できる地図を表示します。
経由地リスト
立ち寄りたい場所の追加や変更ができます。
簡単モード
P26
簡単操作モードに変更できます。
次ページへつづく

付録
U

メニュー
つづき・・・

電話

ワンタッチダイヤル1～5
P134
ワンタッチダイヤルに登録された相手に電話をかけることができます。

QQ コール
P137
QQ コールに電話をかけることができます。

ダイレクト発信
P134
電話番号を直接入力して電話をかけることができます。

電話帳
P135
登録された電話帳から電話をかけることができます。

発信着信履歴
P135
過去の発信着信履歴から電話をかけることができます。

ロードサービス
P137
ロードサービスに電話をかけることができます。

緊急連絡先
P137
緊急連絡先に電話をかけることができます。

電話設定
P131
ハンズフリー電話の設定ができます。

通信機能設定
P80
携帯電話機の接続設定ができます。

次ページへつづく

メニュー
つづき・・・
アドレス帳
新規登録
P158
直接入力によるアドレス帳の新規登録が行えます。
全消去
すべてのアドレス帳を一括消去できます。
機能
アドレス帳の並び順の変更や、USB メモリーからの読み込み (P160) などが行えます。
検索
アドレス帳内の検索が行えます。
次ページへつづく

付録
U

メニュー
つづき・・・
付加機能
音声操作
P142
音声操作機能に関する設定変更や機能の確認などが行えます。
各種情報
地図バージョン(P166)、ハードディスクの容量(P164)が確認できます。
音声メモ
P136,P162　音声の録音が行えます。
壁紙設定
P47
取得した画像を壁紙に設定できます。
データ編集
ユーザーランドマークや回避エリア、マークリストなどのデータを登録、編集、消去ができます。
シークレットモード
P163　アドレス帳などの表示をパスワードで規制できます。
カスタマイズ
カスタマイズメニューやinternavi ダイレクトを好みのメニューに変更できます。
スケジュール設定
カレンダーに直接予定を登録して管理することができます。
次ページへつづく
付録
U

メニュー
つづき・・・
音声音量設定
P21
音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。
機能設定
P168
Honda インターナビシステムの各機能の初期
設定を変更できます。

付録

U

目的地
探し方 1
自宅登録
（自宅へ誘導）
自宅を登録します。（→P29）
（自宅へのルートを設定します。
（→P71））
施設ジャンル
P59
ジャンルごとに施設を探す
ことができます。
周辺検索
P63
現在地や目的地周辺の施設
を検索します。
住所
P61
住所から場所を探します。
よく行く地点
よく行く地点を登録します。
（→P50）
登録したよく行く地点を目的
地に設定できます。（→P71）
電話番号
P57
電話番号から場所を探します。
地図から
P66　地図スクロールから場所を探します。
次ページへつづく

目的地
つづき・・・
探し方２
名称で探す
P58
施設や地名の名称を入力して場所を探します。
マップコード
P65　マップコードを入力して場所を指定します。
マークリスト
P71
登録したマークの場所を目的地に設定できます。
目的地履歴
P70
過去に行った場所を目的地に設定できます。
郵便番号
P65　郵便番号を入力して場所を指定します。
おすすめドライブナビゲーター
おすすめドライブナビゲーターを利用してルートを設定できます。
internavi ドライブ情報
インターナビ情報センターの情報を利用して目的地を設定できます。
目的地消去
P76　目的地を消去します。

画面

方位・マップモード切換

P31
地図の向きやドライビングマップなどのマップモードを切り換えることができます。

画面調整

画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さを調節することができます。

右画面縮尺

2 画面地図のときの右画面の地図スケールを変更できます。

ランドマーク表示

P49
表示させるランドマークを分類や種類ごとに選ぶことができます。

画面消

壁紙を表示するか、画面の表示を消し、まっ暗にすることができます。

表示設定

P168
画面の表示に関する設定が行えます。

さくいん

ア行

ア

イ

エ

オ

カ行

カ

付録

U

付録 U

ソ

タ行

タ

チ

テ

ト

ナ行

ナ

ハ行

ハ

付録

ラ行

ラ

リ

ル

レ

ワ行

ワ

アルファベット

A

B

C

D

F

H

J

M

Q

S

U

付録

U

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）
第 1 条
財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条
当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条
この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス
　当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICS サービス契約
　当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
　当センターと VICS サービス契約を締結した者
(4) VICS デスクランブラー
　ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第 4 条
VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
　文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
　簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
　車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条
当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

(契約の単位)
第 6 条
当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第 7 条
VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域 (全都道府県の区域で概ね NHK－ＦM放送を受信することができる範囲内) とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第 8 条
VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機 (VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)
第 9 条
加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第 10 条
加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第 11 条
当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第 12 条
1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

(料金の支払い義務)
第 13 条
加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条
当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条
加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表

視聴料金 315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote サービスについて

以下の内容を読んでいただき、同意の上ご使用ください。

著作権について

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください : www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ :

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります :
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、
#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、
およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。
Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。
Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。
Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください :
www.gracenote.com/corporate

会社概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。
Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

お問い合わせ、ご相談窓口

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　**0120-112010**（イイフレアイオ）

受付時間　09:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00

〒 351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お問い合わせ前に準備ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① **車検証記載事項**
　車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② **車種名、タイプ名、走行距離**
③ **ご購入年月日**
④ **販売店名**
⑤ **地図バージョンとプログラムバージョン** *(→ P166)*

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
http://www.honda.co.jp/manual/

30SND800
00X30-SND-8001

Ⓝ (MI) 1000.2009.10.9